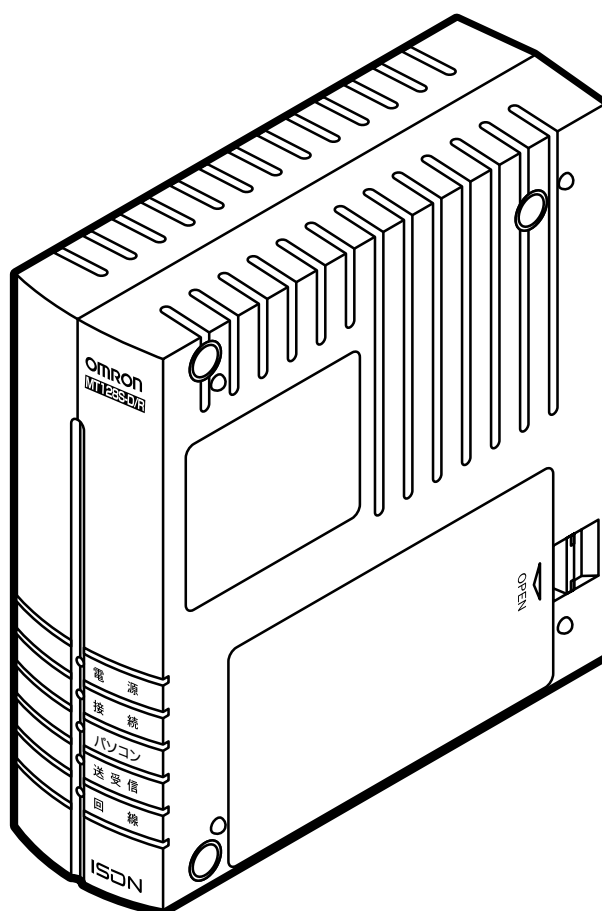
同期128kbps/64kbps

DSU内蔵ISDNターミナルアダプタ

MT128S-D/R

取扱説明書

■はじめに

このたびは、オムロンISDNターミナルアダプタMT128S-D/Rをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
本製品は、同期64000bpsまたは同期128000bpsまでの通信や、NTTナンバー・ディスプレイサービスに対応した電話機をアナログポートに接続して、相手の電話番号を表示することができます。
本製品の多彩な機能を活用してインターネットやパソコン通信などをお楽しみください。
この取扱説明書では本製品の取扱方法や注意事項を説明していますので、お使いになる前に必ずお読みください。
また、必要な時にご覧になれるように、本製品の近くに置いてご使用いただくことをお勧めいたします。
※この取扱説明書では、64000bps,128000bpsと64k,128kおよび64kbps,128kbpsは、同じ意味で用いています。

●取扱説明書の読み方

最初に本取扱説明書を読む際は、「安全上のご注意」からお読みください。また、本取扱説明書を読み本製品の使いかたを充分理解してください。

- 「安全上のご注意」では、ご使用いただく上での安全上の注意事項が書かれています。本製品をお使いになられる方は、必ずお読みください。
- 「□通信を始める前に」では、本製品の特徴や動作可能パソコン、通信を始める前に確認しておくべき内容を記載しています。
- 「□アナログポートの使用方法」では、本製品のアナログポートの機能や設定について説明しています。
- インターネットに接続するための具体的な手順は、別冊「はじめにお読みください」をご参照ください。
- 「□簡単設定ユーティリティの使用」では、簡単設定ユーティリティの機能や設定方法を説明しています。
- その他に、以下の章の記載をしていますので、必要に応じてご参照ください。

「□ATコマンド」
「□お困りのときには」................ アナログポートが正しく動作しないときにご参照ください。インターネットをするためのドライバのインストールや接続する場合に発生するトラブルとその対処方法については、別冊「はじめにお読みください」の「お困りのときには」をご参照ください。
「□用語解説」............................ 本取扱説明書に記載の用語の意味。
「□付録」.................................. 「仕様」「パソコンインタフェース」など
「□関連商品の紹介」

本取扱説明書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
MT128S-D/Rを使って、運用した結果については責任を負いかねますのでご了承ねがいます。

ここに示した注意事項は、
安全に関する重大な内容を記載していますので、必ずお守りください。

安全上のご注意

この取扱説明書では、安全注意事項のランクを「警告」「注意」として区分しています。

⚠警告　誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある場合を示します。

⚠注意　誤った取扱をすると、人が傷害を負ったり、物的損害の可能性がある場合を示します。物的損害とは、家屋、家財および家畜、ペットに関わる拡大損害を示します。

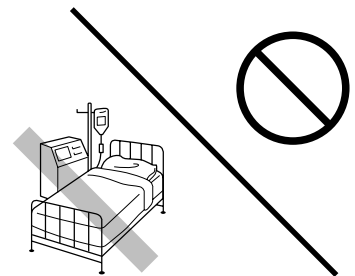
⃠ ：　禁止（してはならないこと）を示します。

❗ ：　強制（必ずしなければならないこと）を示します。

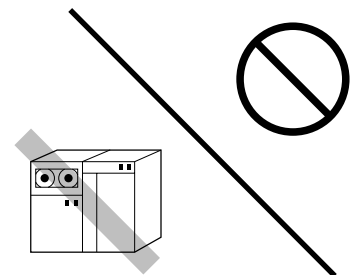
なお、注意、禁止に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも重要な内容を記載していますので必ずお守りください。

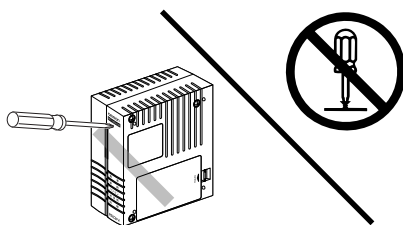
⚠ 警　告

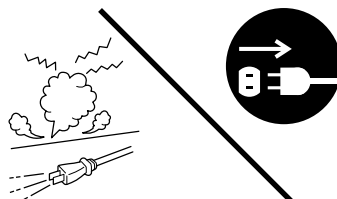
本製品は、医療機器や高い安全性が要求される用途では使用しないでください。

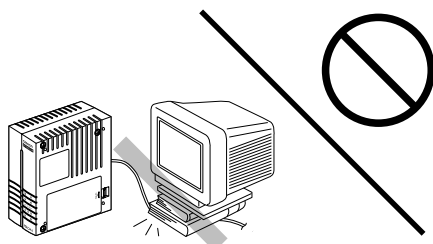
- 人が死亡または重傷を負ったり、社会的に大きな混乱が発生する可能性があります。
- 本製品は一般通信機器（端末用）として使用されることを前提に設計されていますので、主に一般オフィスや家庭のOA機器として、ご使用ください。万一、ご使用されたことにより損害が発生しても、当社は一切責任を負いませんので、ご了承ください。

⚠ 注　意

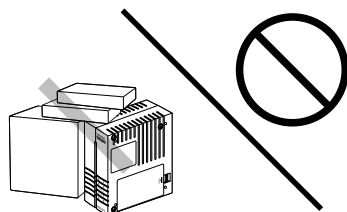
本製品は、高い信頼性を要求される、幹線通信機器や電算機システムでは使用しないでください。

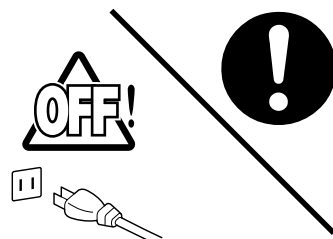
- 社会的に大きな混乱が発生する可能性があります。
- 必ず、当社販売員にご相談ください。

本製品のカバーは、絶対開けないでください。

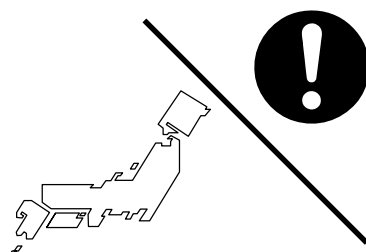
- 本製品内部の電圧の高い部分は感電の危険があります。

本製品から、異臭、異音、煙が発生したときは、電源コードを抜いてください。

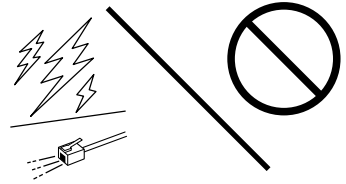
- 火災の原因になることがあります。
- 電源電圧はAC100 V (90〜110 V)で使用してください。この範囲を越えると機器を破損する恐れがありますので、絶対に避けてください。

本製品の電源コードの上に重いものをのせないでください。

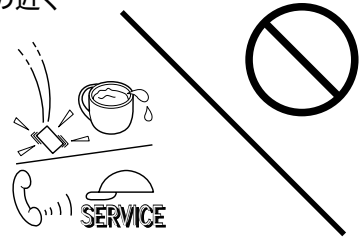
- コードが破損し、発煙、発火や漏電の恐れがあります。
- 電源コードが傷んだ場合、(芯線の露出、断線等)、当社のメンテサービス部門(TEL:0559-77-9039)へご連絡ください。

本製品を不安定な場所や逆さまに設置したり、上に重いものをのせないでください。

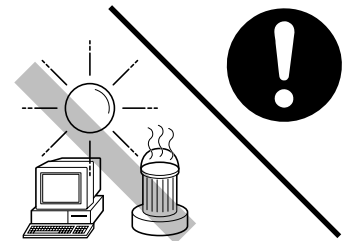
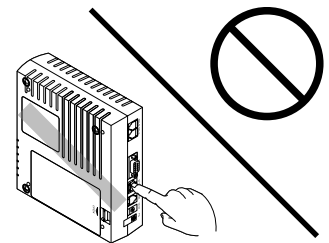
- 本製品の故障、破損などによって、発煙、発火の恐れがあります。

本製品と他の機器を接続するときは、機器の電源を切った状態で行ってください。

- 電源を入れたまま接続すると、故障の原因となり発煙、発火の恐れがあります。

本製品は、日本国以外で使用しないでください。

- 海外は、電圧、使用環境が異なるため、本製品の破損、発煙、発火の恐れがあり危険です。
- 本製品は、海外での許認可は受けていませんので、海外では使用できません。
- This Terminal Adapter can be used in Japan only and can not be used in any other countries.

雷が発生した場合は、電源ケーブルや電話線のケーブルには手を触れないでください。

● 感電の恐れがあります。

この取扱説明書に記載されている周囲環境条件から外れた使用、保管は絶対しないでください。

● 本製品の故障、破損などによって、発煙、発火の恐れがあります。下記の環境には特にご注意ください。
- 自動車内等の直射日光の当たる場所・高温下や発熱する器具の近く
- 極端に湿度の高い場所・埃の多い場所
- 油滴、油煙、湯気の当たる場所
- 衝撃を受けたり振動が加わるような不安定な場所
- ラジオやテレビなどのすぐ近く
- 高周波雑音が発生する高周波ミシン、電気溶接機等の近く

下記のような事故が発生したら、必ず当社のメンテサービス部門（TEL:0559-77-9039）へ修理、点検を依頼してください。

● そのまま使用されると、重大な事故が発生する恐れがあります。
- 60cm以上の高さから落下させてしまったとき
- 水やコーヒーなどの液体をかけてしまったとき
- クリップ等の金属片が本体内部に入ってしまったとき
- ケーブル等を引っかけて、本製品を落下させてしまったとき

感電防止のため本製品のモジュラージャック（TELA、TELB、S/T、ULINE）に指を入れないでください。

本製品の電源コードを引っ張ってコンセントから引き抜かないでください。

●電源コードが傷ついたり、断線して火災、感電の原因となることがあります。
●電源コードを抜き差しするときは、必ずプラグを持って抜き差ししてください。

本製品のケース上面と側面にある通風孔をふさがないでください。

●通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、誤動作ややけど、火災の原因になります。

風通しの悪い場所に置かないでください。

● 密閉された場所におくと内部に熱がこもり、誤動作ややけど、火災の原因になります。

重ね置きをしないでください。

● 内部に熱がこもり、誤動作ややけど、火災の原因になります。

電源プラグとコンセントの間の埃は、定期的(半年に1回程度)に取り除いてください。

●火災の原因となることがあります。

電源プラグは確実に根本まで差し込んでご使用ください。

●電源プラグに埃が付着し、電源が短絡して発火、発煙の恐れがあります。

本製品のFG端子(アース端子)を使って接地してください。

●落雷時の影響(破損、焼損等)を軽減したり、ノイズ(電気的雑音)の影響を軽減します。

本製品に乾電池を入れるときは、極性を間違えないように入れてください。

● 極性を間違えて入れると、数時間あとに乾電池内部の液が漏れだし、手や皮膚につくとただれや火傷の原因になります。また、乾電池が発熱し、ケースなどの溶融の原因にもなります。

留意事項

はじめて本製品をお使いになるときや長い間電源を切ったままの状態にした場合は、不揮発メモリーの内容が失われている恐れがあります。お使いになる前に、本製品の初期化の操作を行ってください。初期化の方法は「設定スイッチ」(P15)または「簡単設定ユーティリティの使用」(P48)を参照してください。

長時間無人で使用する場合は、正しく動作していることを必ず定期的に確認してください。

本製品を拭く場合、揮発性の有機溶剤や薬品、化学雑巾などで拭くと変形や変色する恐れがありますので、石鹸水等で良く絞った布で拭いてください。

本製品は NTT のINS ネット64と電気的条件が異なる回線では使用できません。電話機用モジュラージャックには、既存の電話網に接続するプッシュ式(PB)の電話機、ファクシミリ、モデム等がそのまま接続できます。接続する前に電話装置メーカーや保守業者に、ご相談ください。

付属のCD-ROMは下記を守って使用してください。

● 表面を直接触らない。

● 折り曲げない。

● 高温、高湿、直射日光、埃のなかで保管しない。

地球環境負荷を減らすために以下のことにご協力ください。

本製品および付属品は不燃物として処分してください。

- 廃棄方法は、各居住区で定められている分別収集方法に従ってください。
- 家庭で一般ゴミとして焼却すると、ダイオキシンや塩化水素ガス等が発生して環境や人体に悪影響を与えます。

不要電池は各都道府県や地区で定められている分別収集方式に従って処分してください。

- 環境保護のために廃棄方法を法律で規制しています。

長期間使用しない場合は、電池を本製品から取り出しておいてください。

- 液漏れにより電池が劣化するとともに、電池の内部電力消費により電池が消耗します。

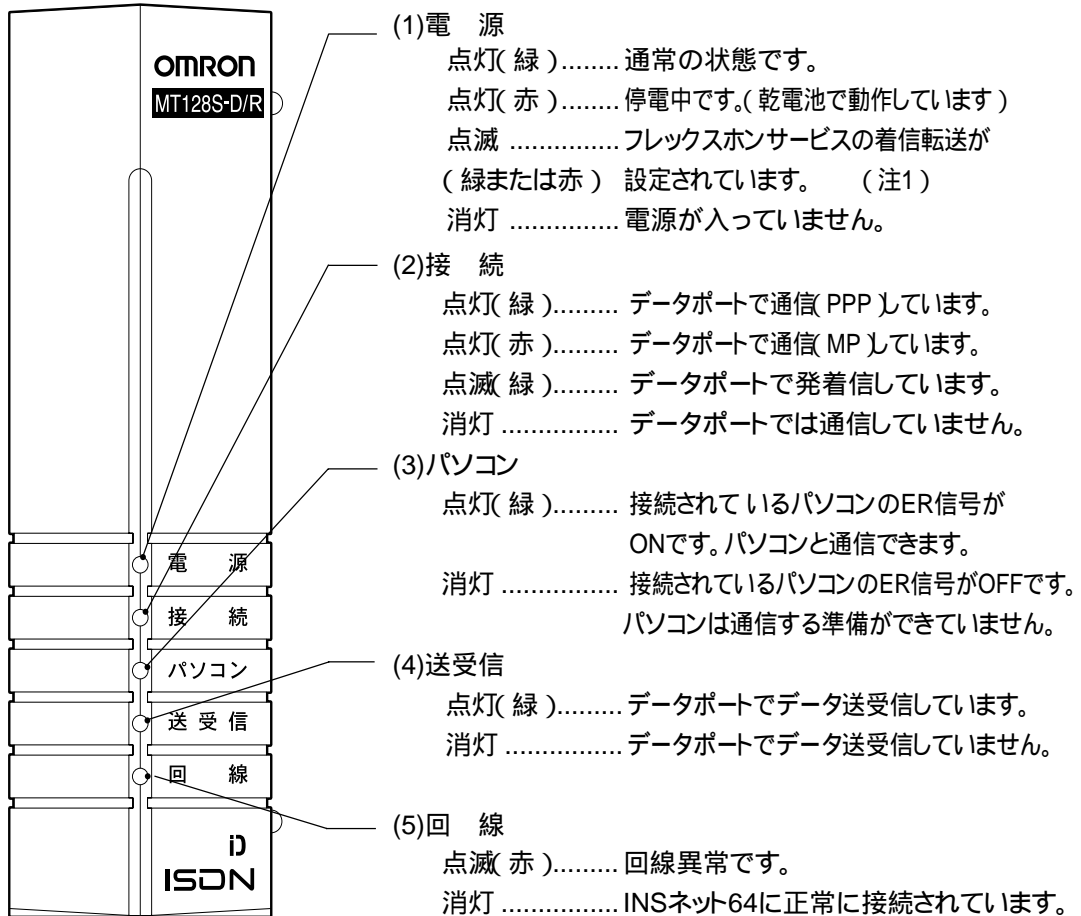
●目　次

■通信を始める前に

● MT128S-D/Rの特徴

- DSU内蔵ですので、添付のINS回線ケーブルを使用して、ISDN回線と直接接続ができます。（＊DSUの切り離しはできません。）
- 停電時の電池駆動（最大待受約3時間、通話約2時間）
- Uインタフェース極性リバーススイッチ
- 128kbps通信プロトコル MP /BACPをサポート
- リソースBOD、スループットBOD機能で電話料金を節減
- フラッシュROM搭載でファームウエアのアップグレードが可能
- 終端抵抗切替スイッチ付き
- NTTフレックスホン対応（コールウェイティング・着信転送・三者通話・通信中転送）
- グローバル着信選択機能
- 内線通話、内線転送機能
- バス接続用S/Tインタフェース1ポート（＊接続端末への給電は行っておりません。）
- アナログポート設定用ユーティリティソフト付属
- ナンバー・ディスプレイ、ボイスワープ対応

● 各部の名称と働き

■ 前面

留意事項

（注1）AC電源動作中は緑の点滅、停電動作中は赤の点滅です。

●アナログポート使用中は、接続ランプは消灯しています。

●回線ランプが速い点滅をしているときは、正常に動作しません。「お困りのときには」をご参照ください。
（P82参照）

●通常の待ち受け時およびアナログポート使用時のランプ状態は電源ランプのみ点灯しています。

●「パソコン」ランプについて
本製品をMacintoshに接続してお使いのときは、Macintoshの電源をOFFにしても、本製品の「パソコン」ランプが点灯している場合があります。これは異常ではありません。

■ 背面

（1）TEL A、TEL Bポート
アナログポート用モジュラージャック
電話機、ファクシミリ、モデム等に付いているモジュラーケーブルを接続します。

（2）DTE
端末DTE接続コネクタ
付属のRS-232Cケーブルでパソコンと接続します。

（3）S/T
デジタルポート用モジュラージャック
他のターミナルアダプタ、ISDNデジタル電話機等を増設するときにケーブルを接続します。

（4）U LINE
INS回線用モジュラージャック
付属のINS回線ケーブルを使いISDN回線と接続します。

（5）DC7V
付属のACアダプタを接続します。

（6）FG
フレームグランド
アースに接続します。

通信を始める前に

■ 側面

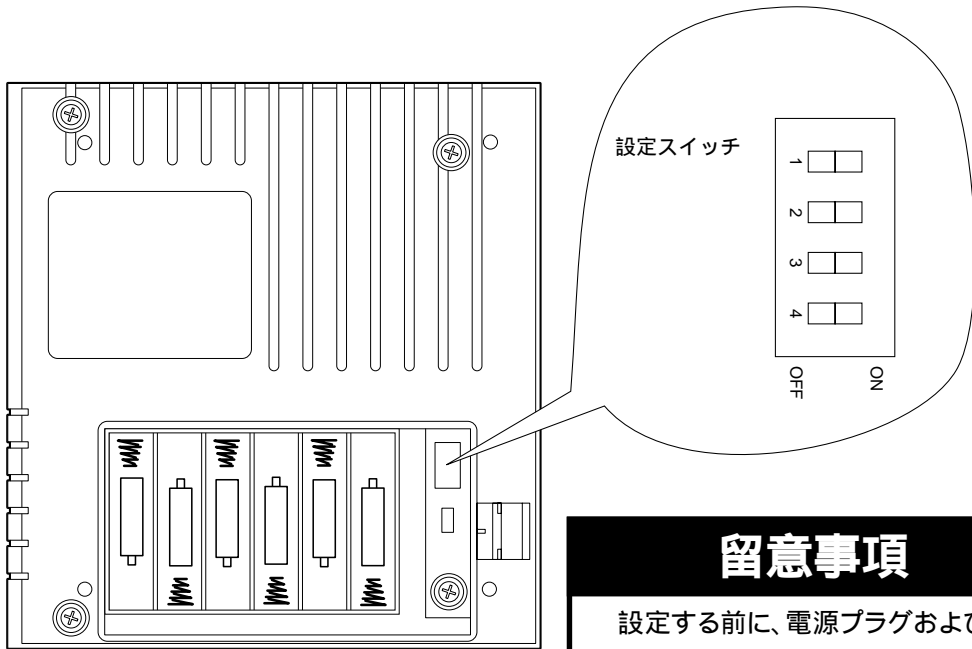
(3) 設定スイッチ
各種設定を行います。(P15参照)

(4) 極性リバーススイッチ
ISDN回線の極性を切り替えるスイッチです。次のときは切り替えてください。
(工場出荷時は、NORに設定されています。)
- アナログポートに接続しているアナログ機器で発着信できないとき。
- 受話器を上げると話中音「ツー、ツー」が聞こえ、回線ランプが速い点滅のとき。(P75参照)

留意事項

●切り替える前に、電源プラグおよび乾電池を抜いてください。

■ 設定スイッチ

乾電池ケースの内側にあるスイッチで以下の設定ができます。

留意事項

● 設定する前に、電源プラグおよび乾電池を抜いてください。

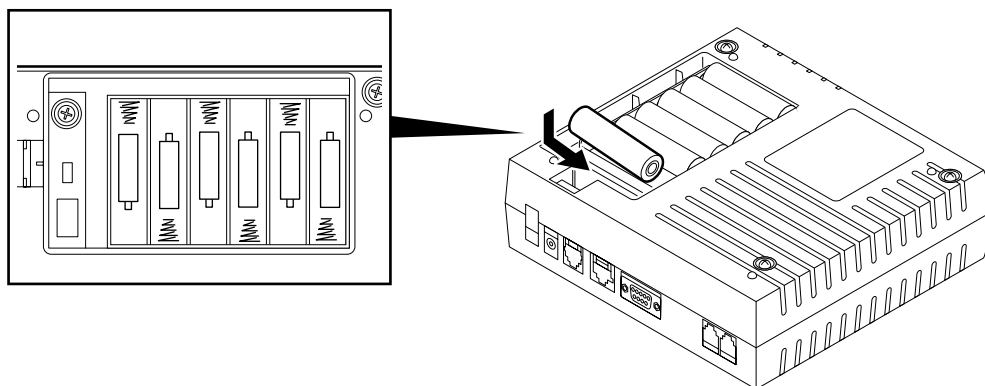
スイッチ	内　　　容
1,2	終端抵抗設定 　ON　:終端抵抗あり(出荷値) 　OFF:終端抵抗なし ※本製品が接続されている回線に他のISDN機器(ターミナルアダプタ、デジタル電話等)が接続されていないときは、終端抵抗設定をONにしてください。 必ず「1,2ともにON」または「1,2ともにOFF」の組み合わせで設定してください。
3	未使用 「ON」(工場出荷値)のまま、使用してください。
4	設定初期化 　ON　:電源を立ち上げたとき、設定を工場出荷値に戻します。 　OFF:設定を保持します。(出荷値) 初期化方法 ①電源プラグおよび乾電池を抜きます。 ②スイッチ4をONにして電源プラグを入れます。 ③再度、電源プラグを抜きます。 ④スイッチ4をOFFに戻し、再度、電源プラグを入れます。 以上で初期化が完了しました。乾電池を使用する場合は、次ページをご覧頂き、入れてください。

■ 停電に備えて

MT128S-D/Rには、停電のときでもアナログポートに接続した電話機等が使用できるように、乾電池によるバックアップ機能があります。バックアップ機能を使用するときは、乾電池を入れてください。
バックアップ機能を使用しないときは、乾電池を入れる必要はありません。

●乾電池の入れ方

本製品の電源プラグを抜いた状態で以下の作業を行ってください。

1. 単3アルカリ乾電池を6本準備してください。（お客様で準備してください。）
2. 本製品側面の乾電池ケースを開けて、乾電池を入れてください。
   乾電池を入れるときは、プラス（＋）マイナス（ー）の向きを正しく入れてください。
3. 乾電池ケースを閉め、電源プラグを差してください。

留意事項

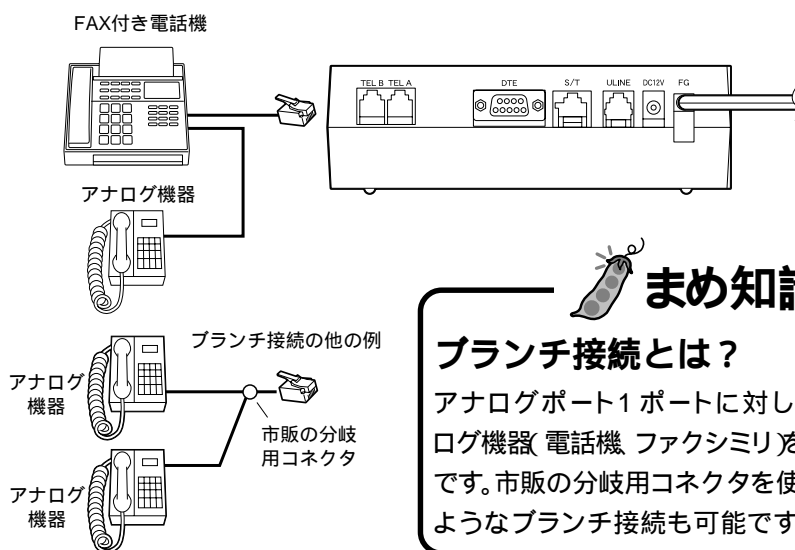
- 停電時のバックアップは自動切り替えになっていますが、切り替え時には通信は遮断されます。
- バックアップ時間は、乾電池が新品のとき、通話：約2時間、待受け：約3時間です。なお、ご使用状況によってはバックアップ時間が短くなりますので、あらかじめご了承ください。
- バックアップ時は、内線通話（P50参照）、内線転送（P51参照）機能も動作可能です。
- バックアップ時に乾電池の残量がなくなると、本製品は使えなくなります。
- 乾電池の交換時期について
  停電がなければ乾電池の使用期限内では通常にご使用になれますが、いざというときのために、定期的に（1年に1回程度）乾電池を新しいものと交換しておくことをお勧めいたします。
- アルカリ乾電池以外の乾電池を使ったときは、バックアップ時間は短くなります。
- 乾電池を交換するときの注意点
  - ・乾電池は、すべて同じ種類の新品と交換してください。
  - ・すべての乾電池は、本製品に表示された方向（極性）通りに入れてください。逆に入れると、乾電池の過熱、破裂、液漏れなどの原因となります。また、乾電池から漏れた液が皮膚や目に付くと火傷や失明する恐れがあり、大変危険です。

■ 接続時の注意点

1 .ISDN回線との接続

- ●接続するときは、ターミナルアダプタの電源を抜いてください。バックアップ用の乾電池も抜いてください。
- ●本製品が対応している回線はINSネット64のみです。OCNエコノミー等の専用線では使用できません。
- ●MT128S-D/Rは、ISDN回線に接続するターミナルアダプタです。その他の回線には、接続しないでください。また、接続には、付属のINS回線ケーブルをご使用ください。
- ●付属のケーブルが短い場合は、市販の6極2芯または6極4芯ケーブルをご使用ください。

2 . アナログ機器、ファクシミリとの接続

- ●アナログポートには、アナログ回線に接続するプッシュ式（PB）の電話機、ファクシミリ（G3）、モデム等が接続可能です。（ダイヤル式（DP）専用のアナログ機器は、使用できません。）
- ●アナログポートには、端末審査協会（JATE）の適合認定（「〶」マーク）を受けたアナログ機器を接続してください。
- ●MT128S-D/Rは、極性反転機能をサポートしています。極性反転をチェックする電話機、ファクシミリ、モデム等も使用可能です。
- ●アナログポートと電話機、ファクシミリ、モデム等とは、その装置に付属している標準の6極モジュラーケーブルで接続してください。
- ●アナログポートと接続できるのはアナログ機器です。ビジネスホン、ホームテレホンは使用できません。
- ●1つのアナログポートに接続できるアナログ機器は、2台までです。（アナログ機器内部の静電容量と抵抗の合計が、3μF、2kΩ以上になると、その台数以上は接続できません。通常は2台になります。）

まめ知識

ブランチ接続とは？

アナログポート1ポートに対して2台のアナログ機器（電話機、ファクシミリ）を接続することです。市販の分岐用コネクタを使用した左図のようなブランチ接続も可能です。

留意事項

●ブランチ接続をした場合、「ナンバーディスプレイ」の機能は使用できません。

3.パソコンとの接続

- パソコンの電源OFFの状態でターミナルアダプタを接続してください。
- 付属ケーブルもしくは市販のRS-232Cケーブル(ストレートタイプ)をご使用ください。
  ただし、市販のものを使用するときはRS-232Cの規格内でご利用ください。

4.電源との接続

- 付属のACアダプタ以外は、接続しないでください。故障の原因になります。
- ACアダプタの電源プラグは、AC100V(50Hzまたは60Hz)の電源コンセントに差し込んでください。
- 本製品には、電源スイッチがありませんので、電源の入/切は電源プラグの抜き差しで行なってください。
- 電源プラグを電源コンセントに接続すると、本製品の前面のランプがすべて点灯します。その後、正常であれば、電源ランプ以外は、すべて消灯します。このとき、回線ランプが速い点滅をするときは、極性リバーススイッチ(P14参照)を切り替えてください。回線ランプが消灯すれば、正常な状態です。
- MT128S-D/Rの故障、破損などによって万一発煙・発火があったときは、直ちに電源プラグをコンセントから抜いてください。また、必ず当社のカスタマサポートセンタ(TEL:0559-77-4717)もしくはメンテサービス部門(TEL:0559-77-9039)にご連絡ください。
- ACアダプタのプラグが本体から抜けないように、本体側面のフック(P14参照)にケーブルをかけてください。

5.その他

- 本製品は、DSUの切り離しができないため、S/T(デジタルポート用モジュラージャック)には、DSUを接続しないでください。故障の原因になります。
- デジタル機器を接続するときは、本製品をISDN回線に直接つなぎ、本製品のS/Tと他のデジタル機器をケーブルでつないでください。
- S/Tにデジタル機器を接続するときは、設定スイッチの終端抵抗をOFFにしてください。
  (P15参照)
  また、本製品から見て、S/Tに接続した最遠端に位置する機器には、必ず終端抵抗の機能の付いた機器をご使用ください。

■アナログポートの使用方法

● アナログポート機能一覧

ご使用目的にあわせたページをご覧ください。

＜ページの構成＞

アナログポートの使用方法

4.INSナンバー・ディスプレイを使いたい(発信電話番号表示サービス)

「INSナンバー・ディスプレイ」を契約し、ナンバー・ディスプレイ対応の電話機やファクシミリに着信すると、相手（発信者）の電話番号や通知できない理由が表示できます。

契約：(要)　INSナンバー・ディスプレイ
設定（簡単設定ユーティリティ）：(要)（TEL A, TEL Bポート設定「ナンバー・ディスプレイ P32参照」）
接続：アナログポートにはナンバー・ディスプレイ対応のアナログ機器をつなげてください

留意事項

- 相手が公衆電話からかけてきたときや、184をつけてダイヤルしたとき、常時通知拒否契約のときなどは通知されません。
  また、リソースBODまたはスループットBOD（参照P64）を使用し、128kbpsで通信しているときも通知されません。
- ブランチ接続をした場合、「モデムダイヤルイン」及び「ナンバーディスプレイ」の機能は使用できません。

まめ知識

- デジタル網からの着信
  相手がデジタル網から発信者番号を通知して電話をかけてきたとき、INSナンバー・ディスプレイを契約していなくても、相手の電話番号が通知されます。
- INSナンバー・リクエスト
  この機能は、相手が発信者番号通知をせずにかけてきたときに、音声で発信者番号通知を促します。
  この機能を使用するには、NTTとの契約が必要です。

■簡単設定ユーティリティを使用した設定例
（TEL Aポートにナンバー・ディスプレイを設定する場合）
簡単設定ユーティリティの使用方法については、P56以降を参照してください。

① 簡単設定ユーティリティを起動してください。
② TEL Aポート をクリックしてください。

オムロン MT128S-D 簡単設定ユーティリティ

30

アナログポートの使用方法

アナログポートの使用方法			
番号	使用方法	説　　明	参照ページ
1	外線電話をかけたい		22
2	かかってきた外線電話を受けたい		23
3	電話機を呼びわけたい		24
	3-1.　iナンバーによる呼びわけ	TEL A,TEL Bポートにそれぞれ接続した2台の電話機を別々の電話番号で呼びわけることができます。 ※iナンバーまたはダイヤルインサービスのお申込みが必要です。	24
	3-2.　ダイヤルインサービスによる呼びわけ（グローバル着信）		27
4	INSナンバー・ディスプレイを使いたい（発信電話番号表示サービス）	ナンバー・ディスプレイ対応の電話機やファクシミリに着信すると相手（発信者）の電話番号が表示できます。	31
5	相手先に電話番号を通知したい/通知したくない（発信者番号通知）	発信するときに自分の電話番号を相手に通知する、しないを選択できます。	33
6	INSボイスワープ／INSボイスワープ・セレクトを使いたい	NTTの「INSボイスワープ」または「INSボイスワープセレクト」の契約が必要です。	34
7	フレックスホンサービスを使いたい		36
	7-1.　通話中に別の相手と通話したい（コールウェイティング及び擬似コールウェイティング） ※キャッチホンと同等の機能です	NTTの「フレックスホン」サービスの「コールウェイティング」契約をすると、通話中の新しい着信に応答したり、元の通話相手に戻ることができます。 契約不要の「擬似コールウェイティング」機能を使うこともできます。	36
	7-2. 3人で同時に話したい（三者通話）	NTTの「フレックスホン」サービスの「三者通話」を契約すると、3人の間で通話できます。契約不要の「擬似三者通話」機能を使うこともできます。	40
	7-3.　通話中の電話を他の電話に転送したい（通信中転送）	NTTの「フレックスホン」サービスの「通信中転送」を契約すると、着信した電話を別の相手に転送できます。擬似の場合は「9.内線電話をかけたい/受けたい（内線転送）」機能を使用してください。	43
	7-4.かかってきた電話を他の電話に転送したい（着信転送）	NTTの「フレックスホン」サービスの「着信転送」を契約すると、着信した電話をあらかじめ設定した転送先へ自動的に転送できます。契約不要の「擬似着信転送」機能を使うこともできます。	45

アナログポートの使用方法

アナログポートの使用方法			
番号	使　用　方　法	説　　明	参照ページ
8	片方のアナログポートをふさぎたい（着信拒否） 例）2つのポートのうち、1つのポートにしか電話機を接続しない。 例）2つのポートのうち、1つのポートにモデムを接続している。	●電話機が1台で、空いているアナログポートに電話がかからないようにします。空いているポートは話中になります。 ●電話機とモデムを接続している時、モデムの接続ポートは電話を受けなくなります。（発信のみ）	48
9	内線電話をかけたい/受けたい（内線通話）	2つのアナログポートにつないだ電話機同士で通話できます。	50
10	外からの電話をとりつぎたい（内線転送）	外からかかってきた電話をもう一方のアナログポートの電話機に転送できます。	51
11	短縮番号で電話をかけたい	よく使う電話番号を短縮番号として登録すると、2つのボタンを押すだけで電話をかけられます。	53
12	識別着信番号に登録した番号のみとりたい（識別着信）	識別着信番号に登録した電話番号の相手に限り、着信させることができます。	54

1．外線電話をかけたい

アナログポートにプッシュ式（PB）の電話機をつなぎ、外線電話をかけることができます。
（ダイヤル式（DP）の電話機は使えません）

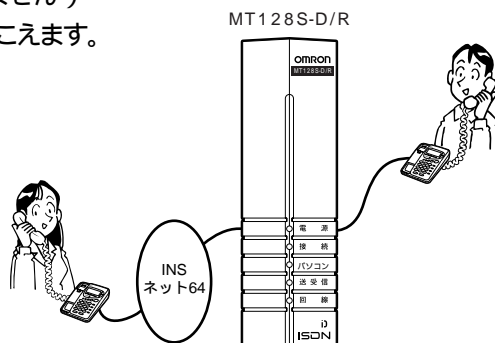
契約： 不要

設定（簡単設定ユーティリティ）：

■ **手順**

① **アナログポートに電話機をつないでください。（別冊「はじめにお読みください」参照）**
（TEL A,TEL Bポートのどちらにつないでもかまいません）

② **受話器を上げてください。→第1発信音「ツー」が聞こえます。**

③ **電話番号をダイヤルしてください。**
＊通話終了後、受話器をおいてください。

まめ知識

● **サブアドレスの付加**
以下のように、電話番号→「＊」→「サブアドレス」の順にダイヤルしてください。
0559123456＊0123
└ サブアドレス
└ 電話番号

● **電話番号とサブアドレス**
電話番号最大桁数　：20桁
サブアドレス最大桁数　：5桁
数字（0～9）のみダイヤル可能です。

● **ファクシミリやモデムの発信**
使用するファクシミリやモデムの取扱説明書にしたがってください。
回線の種類は、「プッシュ式（PB）」を選択してください。

● **発信者番号の通知（P33参照）**

● ダイヤル終了後、約5秒たつと発信します。すぐ発信したいときは、ダイヤル終了後 # を押してください。

● ダイヤルの途中でも、間隔を約5秒あけると発信します。

2．かかってきた外線電話を受けたい

アナログポートにつないだ電話機にかかってきた電話を受け、通話ができます。

■ 手順

① **アナログポートに電話機をつないでください。（別冊「はじめにお読みください」参照）**
（TEL A,TEL Bポートのどちらにつないでもかまいません）

② **電話機の呼出音が鳴ったら、受話器を上げてください。**
＊通話終了後、受話器をおいてください。

●初期の状態では、優先着信の設定は「設定しない」になっています。外から電話がかかってくるとTEL A、TEL Bポートにつないだ両方の電話機が鳴ります。優先的に呼び出したい電話機があるときは、「優先着信ポート」設定を行ってください。（P62参照）

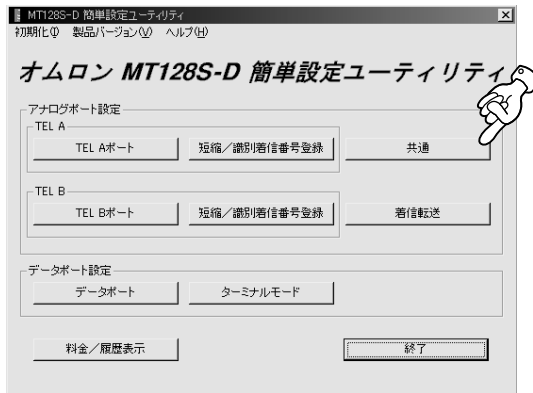
3．電話機を呼びわけたい

3 -1. i･ナンバーによる呼びわけ

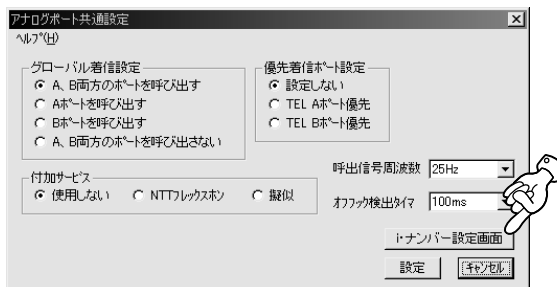
「i･ナンバー」サービスは、NTT社が提供する有料のサービスです。「i･ナンバー」サービスを契約されると、家庭内で2つ番号の使い分けができ、2台の電話機で別々の電話番号が使えます。「i･ナンバー」サービスをご利用になるには、**MT128S-DR**の設定が必要です。以下の手順に従って、設定してください。なお、「i･ナンバー」サービスについての詳細は、NTT社へお問い合わせいただきますようお願いいたします。

■設定

1. **簡単設定ユーティリティを起動してください。すると<画面1>が表示されます。
なお、簡単設定ユーティリティの使用方法についてはP56以降をご参照ください。**

2. **<画面1>が表示されているときに、共通をクリックしてください。**

<画面1>

3. **アナログポート共通設定画面が表示されますので、i･ナンバー設定画面をクリックしてください。**

<画面2>

アナログポートの使用方法

4.　i･ナンバーの設定画面が表示されますので、以下を参照してください。

＜画面3＞

①i･ナンバー

「i･ナンバー」機能を使用するとき

「i･ナンバー」機能を使用しないとき

②ポート設定

ポート1･契約者回線番号を入力します。

ポート2･追加回線番号を入力します。

※区切り文字(－)を除いて、半角文字で入力してください。

TEL A、TEL B：ポート1、2に入力した番号を、ターミナルアダプタのTEL　A、Bポートのどちらのポートに割り当てるかを設定します。

例）「i･ナンバー」サービスを利用して、契約者回線番号「0559-00-0001」にかかってきたら、TEL　Aポートの電話機を呼び出し、追加番号「0559-00-0002」にかかってきたら、TEL Bポートの電話機を呼び出す場合

5.　設定ができましたら、設定 をクリックし、P24の＜画面2＞アナログポート共通設定画面に戻ってください。

P24の＜画面2＞アナログポート共通設定画面が表示されましたら、設定 をクリックし、P24の＜画面1＞初期画面に戻ってください。

アナログポートの使用方法

6. 「i･ナンバー」のポート設定画面で設定した電話番号と同じ電話番号をTEL A、Bポートに設定します。

　例）　契約者回線番号「0559-00-0011」をTEL Aポート、追加番号「0559-00-0002」をTEL Bポートに設定する場合

1）　P23の＜画面1＞初期画面で TEL Aポート をクリックしてください。

＜画面4＞

2）　TEL Aポート設定画面が表示されますので、電話番号の欄に契約者回線番号（この例では「0559-00-0001」）を入力し、設定をクリックしてください。

※電話番号は区切り文字(－)を除いて、半角文字で入力してください。

＜画面5＞

3）　P23の＜画面1＞初期画面が表示されましたら、 TEL Bポート をクリックします。
すると、TEL B 設定画面が表示されますので、電話番号の欄に追加番号（この例では「0559-00-0002」）を入力し、 設定 をクリックします。

＜画面6＞

7. P1の＜画面1＞初期画面で 終了 をクリックすると、＜画面7＞の終了画面が表示されますので、「設定を保存して終了」を選び（黒丸がつくようにしてください）、 終了 をクリックしてください。

＜画面7＞

以上で設定が終わりました。

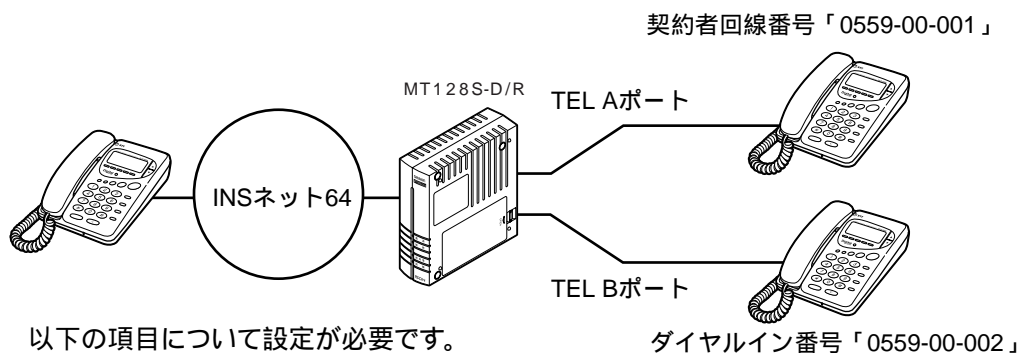
3-2. ダイヤルインサービスによる呼びわけ（グローバル着信）

NTTとの回線契約でダイヤルインサービス契約をし、「グローバル着信を利用する」を申し込んだとき、「グローバル着信設定」を「Aポートを呼出す」または「Bポートを呼出す」に設定するとTEL A,TEL Bポートにつないだ2台の電話機を呼びわけることができます。

契約：㊞要（INSネット64 ダイヤルインサービス）

設定（簡単設定ユーティリティ）：㊞要（TEL A,TEL Bポート設定 「グローバル着信設定 P62参照」 「電話番号の登録 P60参照」）

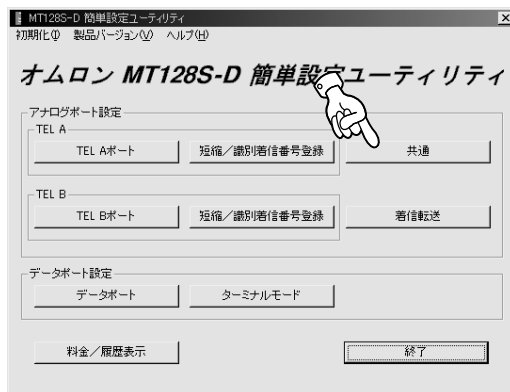
■設定

例） 契約者回線番号「0559-00-0001」にかかってきたら、TEL Aポートの電話機を呼び出し、ダイヤルイン番号「0559-00-0002」にかかってきたら、TEL B ポートの電話機を呼び出す。

以下の項目について設定が必要です。
設定は簡単設定ユーティリティで行います。
設定は以下を参照してください。

- **TEL Aポートに契約者回線番号を設定します。**
  電話番号：契約者回線番号「0559-00-0001」
- **グローバル着信設定：Aポートのみ呼出す。**
- **TEL Bポートにダイヤルイン番号を設定します。**
  電話番号：ダイヤルイン番号「0559-00-0002」

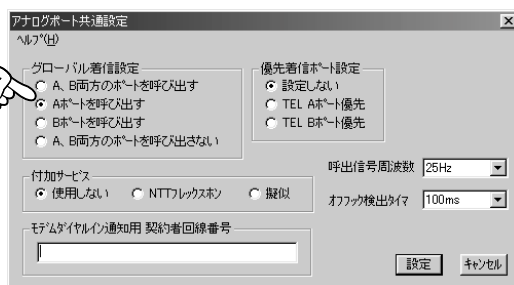
■簡単設定ユーティリティを使用した設定例

簡単設定ユーティリティの使用方法については、P56以降を参照してください。

① 簡単設定ユーティリティを起動してください。

② 共通 をクリックしてください。

③ アナログポート共通設定画面が表示されますので、右図の様に設定してください。
・グローバル着信設定：Aポートを呼び出す

グローバル着信設定

- ○ A ,B両方のポートを呼び出す
- ● Aポートを呼び出す
- ○ Bポートを呼び出す
- ○ A ,B両方のポートを呼び出さない

④ 設定 をクリックし、「オムロンMT128S簡単設定ユーティリティ」画面に戻ります。

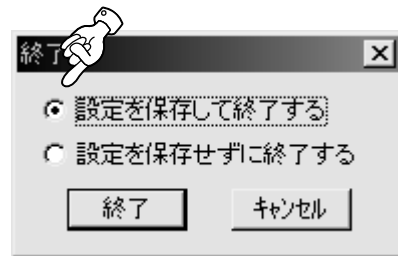
⑤ TEL Aポート をクリックしてください。

⑥ TEL Aポート設定画面が表示されますので、右図の様に設定してください。
・電話番号 ：0559-00-0001を入力してください。
実際にはお客様の契約者回線番号を入力してください。また、区切り文字（－）を除いて、半角文字で入力してください。

⑦ 設定 をクリックし、「オムロンMT128S簡単設定ユーティリティ」画面に戻ります。

⑧ TEL Bポート をクリックしてください。

⑨ **TEL Bポート設定画面が表示されますので、右図の様に設定してください。**

- **電話番号：0559-00-0002を入力してください。**
  実際にはお客様の契約者回線番号を入力してください。また、区切り文字（－）を除いて、半角文字で入力してください。

⑩ **設定 をクリックし、「オムロンMT128S簡単設定ユーティリティ」画面に戻ります。**

⑪ **終了 をクリックしてください。終了画面が表示されていますので「設定を保存して終了する」を選び（黒丸がつくようにしてください）、終了 をクリックしてください。**

以上で設定が終りました。

■電話機とファクシミリを呼びわけるには

TEL A,TEL Bポートにそれぞれ電話機、ファクシミリをつないだとき、下記の設定を行うことで呼びわけることができます。

ダイヤルインサービスを契約していますか?（グローバル着信利用）

はい →

1. ダイヤルイン／グローバル着信を使用して呼びわける（下記参照）
※ 相手がINSネット64のときでもアナログ電話網のときでも呼びわけることができます。

いいえ

2. サブアドレスを使用して呼びわける（P30参照）
※ 相手がINSネット64に加入しているときのみ、サブアドレスで呼びわけることができます。

1.ダイヤルイン／グローバル着信を使用して呼びわける

「3-2 ダイヤルインサービスによる呼びわけ（グローバル着信）」 P27を参照してください。

まめ知識（前ページの続き）

2. サブアドレスを使用して呼びわける

TEL A,TEL Bポートに次の設定をすると、着信状況は以下の通りとなります。

アナログポート

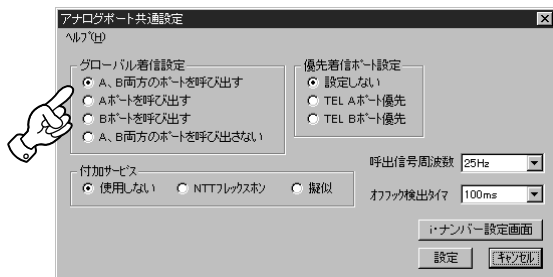
●グローバル着信設定「両方のポートを呼出す」

●電話番号の登録

Aポート：契約者回線番号とサブアドレス 001

Bポート：契約者回線番号とサブアドレス 002

発信者の回線種類 ＼ ポート		TELA（サブアドレス001）	TELB（サブアドレス002）
INS64回線	サブアドレス001を付ける	着信する	着信しない
	サブアドレス002を付ける	着信しない	着信する
	サブアドレスを付けない	着信する	着信する
アナログ回線		着信する	着信する

（簡単設定ユーティリティでの設定画面の例）

留意事項

●サブアドレスによる呼びわけを設定したとき、以下の条件では呼びわけできません。

・相手がアナログ電話網から電話をかけてきたとき

・相手がINSネット64からサブアドレスなしで電話をかけてきたとき

4 . INSナンバー・ディスプレイを使いたい(発信電話番号表示サービス)

「INSナンバー・ディスプレイ」を契約し、ナンバー・ディスプレイ対応の電話機やファクシミリに着信すると、相手（発信者）の電話番号や通知できない理由が表示できます。

契約：㊙要 INSナンバー・ディスプレイ

設定（簡単設定ユーティリティ）：要 （TEL A, TEL Bポート設定「ナンバー・ディスプレイ P60参照」）

接続：アナログポートにはナンバー・ディスプレイ対応のアナログ機器をつなげてください

留意事項

- **相手が公衆電話からかけてきたときや、184をつけてダイヤルしたとき、常時通知拒否契約のときなどは通知されません。**
  また、リソースBODまたはスループットBOD（参照P64,65）を使用し、128kbpsで通信しているときも通知されません。
- **ブランチ接続をした場合、「ナンバーディスプレイ」の機能は使用できません。**

まめ知識

- **デジタル網からの着信**
  相手がデジタル網から発信者番号を通知して電話をかけてきたとき、INSナンバー・ディスプレイを契約していなくても、相手の電話番号が通知されます。
- **INSナンバー・リクエスト**
  この機能は、相手が発信者番号通知をせずにかけてきたときに、音声で発信者番号通知を促します。
  この機能を使用するには、NTTとの契約が必要です。

■簡単設定ユーティリティを使用した設定例

（TEL Aポートにナンバー・ディスプレイを設定する場合）
簡単設定ユーティリティの使用方法については、P56以降を参照してください。

① **簡単設定ユーティリティを起動してください。**
② **TEL Aポート をクリックしてください。**

アナログポートの使用方法

③ **TEL Aポート設定画面が表示されますので、右図の様に設定してください。**
・ナンバー・ディスプレイ：使用する

ナンバー・ディスプレイ
○ 使用しない
● 使用する

④ **[設定] をクリックし、「オムロンMT128S簡単設定ユーティリティ」画面に戻ります。**

⑤ **[終了] をクリックしてください。終了画面が表示されますので「設定を保存して終了する」を選び（黒丸がつくようにしてください）、[終了] をクリックしてください。**

以上で設定が終りました。

ナンバー・ディスプレイの契約をされていない場合は、必ず「使用しない」に設定しないと、アナログポートの接続機器が電話を受けられません。
契約をされる場合も、NTTのナンバー・ディスプレイ切り替え作業が終了後に設定をするようにしてください。

5．相手先に電話番号を通知したい／通知したくない（発信者番号通知）

発信するときに自分の電話番号を相手に通知する、しないを選択します。
発信者番号通知の設定はTEL A、TEL Bポート、データポートの各ポートで設定できます。

契約：要（INSネット64 通常通知／通常非通知）
設定（簡単設定ユーティリティ）：要（TEL A、TEL B、データポート設定 「電話番号の登録 P60,64参照」 「発信者番号通知 P60,64参照」）

INSネット64の契約と本製品の設定によって、通知状況が変わります。また、INSネット64の契約は、「通常通知（通話ごと非通知）」、「通常非通知（回線ごと非通知）」、「常時通知拒否」の3種類があります。なお、ダイヤル「186、184」は、電話番号の前にダイヤルして、通知状況を指定するためつける番号です。

(1)契約が「通常通知」のとき

本製品の設定	ダイヤル「186、184」での通知状況		
	つけない	186	184
通知する	通知します	通知します	通知しません
通知しない	通知しません	通知します	通知しません

(2)契約が「通常非通知」のとき

本製品の設定	ダイヤル「186、184」での通知状況		
	つけない	186	184
通知する	通知します	通知します	通知しません
通知しない	通知しません	通知します	通知しません

(3)契約が「常時通知拒否」のとき

設定に関わらず、通知しません。

留意事項

- 発信者番号を通知するときは、通知したいTELポートに電話番号を設定してください。（P60参照）
- ダイヤルイン番号を通知するには、電話番号にダイヤルイン番号を設定してください。

●発信者番号通知の優先順位（「通常通知」「通常非通知」契約時）

優先　1.「184」「186」のダイヤル操作
　　　2.本製品の設定（「通知する」「通知しない」）
　　　3.INSネット64回線の回線契約の内容（「通常通知」「通常非通知」）となります。
詳細につきましてはNTTにお問い合わせください。

6．INSボイスワープ/INSボイスワープ･セレクトを使いたい

「INSボイスワープ／INSボイスワープ･セレクト」を契約すると、かかってきた電話をあらかじめ設定した転送先へ自動的に転送できます。
申し込み、設定、使用方法については、NTTにお問い合わせください。

契約：要（INSボイスワープ）

設定（簡単設定ユーティリティ）：要
･TEL A, TEL Bポート設定
「電話番号の登録 P60参照」
「発信者番号通知の設定 P60参照」

留意事項

「INSボイスワープ／INSボイスワープ･セレクト」を使用するには、「電話番号」の登録が必要です。

■「INSボイスワープ」の特徴

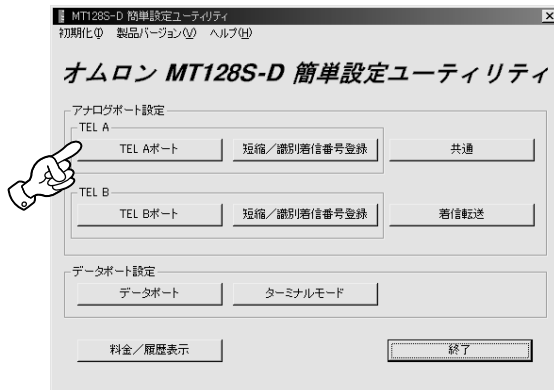
- **転送方法を3つの中から選択できます。**
  ①無条件に転送
  ②転送元（契約者）が応答しない場合に転送
  ③話し中のときに転送
- **転送先電話番号を最大5箇所設定できます。**
- **外出先からも、転送の開始／停止切替や転送先の選択が行えます。**

■「INSボイスワープ･セレクト」の特徴

- **あらかじめ登録した相手からの電話だけを転送します。（登録番号転送）**
- **あらかじめ登録した相手からの電話は転送せずに着信し、他の人からの電話を転送します。（登録番号着信）**

■簡単設定ユーティリティを使用した設定例

（TEL Aポートでボイスワープを利用する場合）
簡単設定ユーティリティの使用方法については、P56以降を参照してください。

① 簡単設定ユーティリティを起動してください。
② TEL Aポート をクリックしてください。

アナログポートの使用方法

③ TEL Aポート設定画面が表示されますので、右図の様に設定してください。

・電話番号：電話番号の登録のところでTEL Aポートに電話番号0559-00-0001を入力してください。

実際にはお客様の契約者回線番号を入力してください。

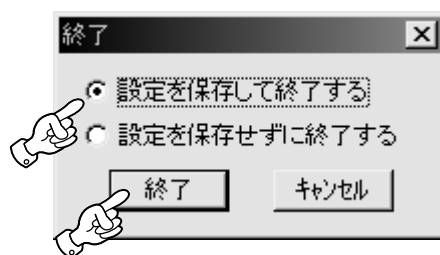
また、区切り文字(－)を除いて、半角文字で入力してください。

・発信者番号通知：通知するを選択してください。

④ 設定 をクリックし、「オムロンMT128S簡単設定ユーティリティ」画面に戻ります。

⑤ 終了 をクリックしてください。
終了画面が表示されますので「設定を保存して終了する」を選び(黒丸がつくようにしてください)、終了 をクリックしてください。

以上でターミナルアダプタの設定が終りました。

この後、NTTのボイスワープ使用説明書をご覧いただき、電話機から転送先の電話番号を登録してください。詳しくはNTTにお問い合わせください。

7．フレックスホンサービスを使いたい

NTTの「フレックスホン」を契約すると以下の4つのサービスを使用できます。

- 通話中に別の相手と通話 したい（コールウェイティング） P36参照
- 3人で同時に話 したい（三者通話） P40参照
- 通話中の電話を他の電話に転送 したい（通信中転送） P43参照
- かかってきた電話を他の電話に転送 したい（着信転送） P45参照

7-1. 通話中に別の相手と通話したい －キャッチホン機能－（コールウェイティング及び擬似コールウェイティング）

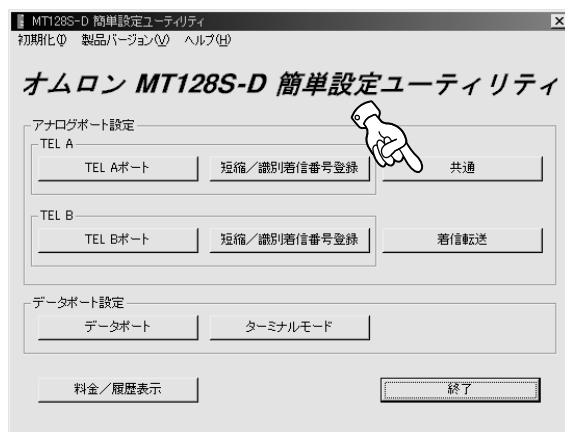
「コールウェイティング」を契約すると、通話中に新 しい着信があったとき通話中の方を保留にし、あとからかけてきた方との通話ができます。また、元の通話相手に戻ることもできます。

本製品のサポートする機能の1つで、NTTと契約（NTTコールウェイティング）をせずに、ほぼ同様の機能が実現できる「擬似コールウェイティング」機能を使うこともできます。

NTTコールウェイティングと擬似コールウェイティングの違いについては、P38の留意事項を参照 してください。

■ 設定方法

簡単設定ユーティリティの使用方法についてはP56以降を参照してください。

① **簡単設定ユーティリティを起動してください。**

② **共通 をクリックしてください。**

アナログポートの使用方法

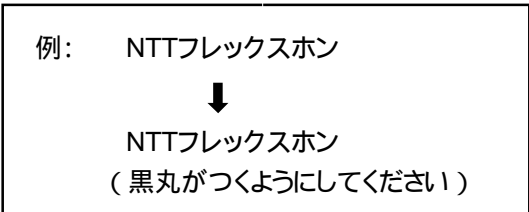
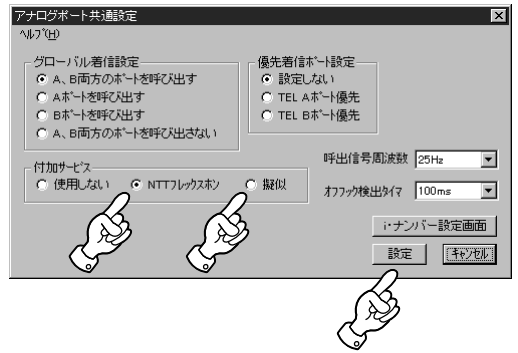
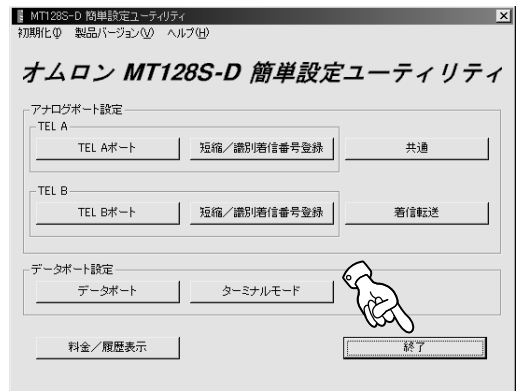
③ アナログポート共通設定画面が表示されますので右図の様に設定してください。

・付加サービス

「NTTコールウェイティング」機能を使用するとき

→「NTTフレックスホン」を選択

「擬似コールウェイティング」機能を使用するとき

→「擬似」を選択

例：○ NTTフレックスホン

⬇

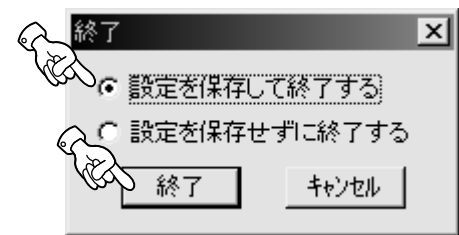
● NTTフレックスホン

（黒丸がつくようにしてください）

④ 設定 をクリックしてください。「オムロンMT128S簡単設定ユーティリティ」画面に戻ります。

⑤ 終了 をクリックしてください。

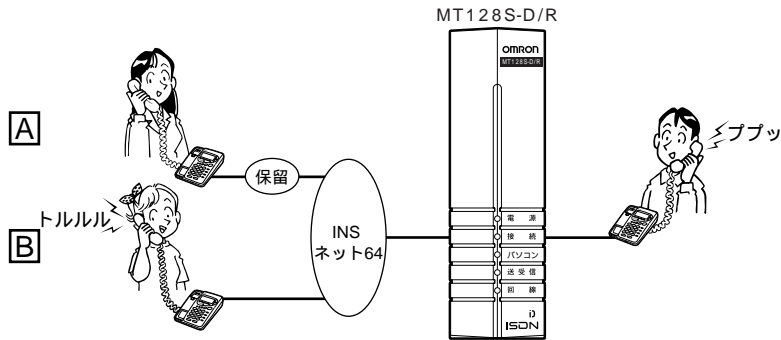
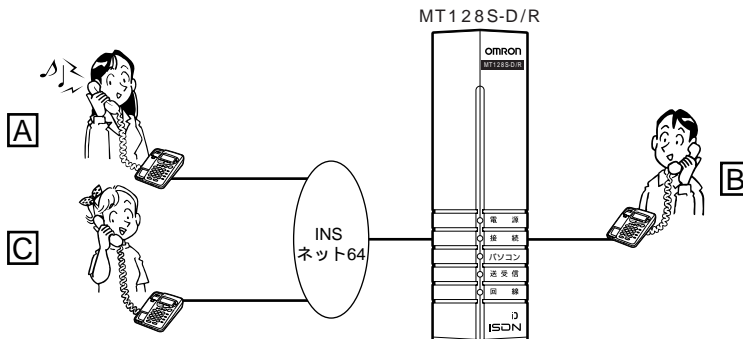
⑥ 終了画面が表示されますので「設定を保存して終了する」を選び（黒丸がつくようにしてください）、 終了 をクリックしてください。

以上で設定が終りました。

留意事項

● 一部機種のコードレス電話機の子機では「NTTコールウェイティング」及び「擬似コールウェイティング」が使えない場合があります。

アナログポートの使用方法

■ NTTコールウェイティング(擬似コールウェイティング)の操作手順

① A と通話中に着信音「プップッ、プップッ…」が聞こえます。

② フッキングしてください。新しくかけてきた方(B)と通話ができるようになり、最初に話していた方(A)には保留音が流れます。
(擬似コールウェイティングを使用すると、「プップッ」という擬似保留音が聞こえます。)

③ もう一度フッキングすると、元の相手(A)との通話に戻ります。

留意事項

● NTTコールウェイティング、擬似コールウェイティング共通
- 受話器をおくと呼出音が鳴り、再度受話器を上げると保留していた方(A)に戻ります。

● NTTコールウェイティング
- NTTとコールウェイティングサービスを契約し、以下の条件のとき、TEL Aポートに着信音が聞こえます。

  TEL A,TEL Bポートともに
  →・回線使用中
  　・NTTコールウェイティング設定中
- コールウェイティングを使用しているときには、他のアナログポートでフレックスホンサービスは使用しないでください。

● 擬似コールウェイティング
- 通信、通話等で2本ともにBチャンネルを同時に使用しているときは、擬似コールウェイティングは使用できません。

- もう一つのアナログポートがあいているときは、電話がかかってくるとそのポートも呼び出します。
- **フッキングとは**

  電話機のフックボタンを約1秒未満押すことです。1秒以上押すと電話が切れることがあります。

フックボタン

アナログポートの使用方法

7-2. 3人で同時に話したい（三者通話）

「三者通話」を契約すると3人の間で通話できます。

■ 設定方法

簡単設定ユーティリティの使用方法についてはP56以降を参照してください。

① 簡単設定ユーティリティを起動してください。

② 共通 をクリックしてください。

③ アナログポート共通設定画面が表示されますので右図の様に設定してください。

- 付加サービス
  「NTTの通信中転送（内線転送）、三者通話」
  機能を使用するとき
  →「NTTフレックスホン」を選択
  「擬似通話中転送、三者通話」機能を使用するとき
  →「擬似」を選択

例：○ NTTフレックスホン

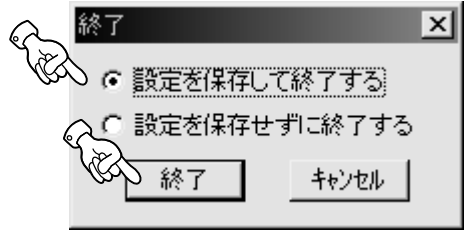
⬇

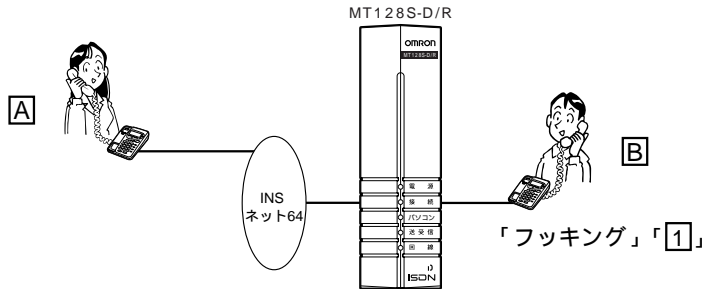
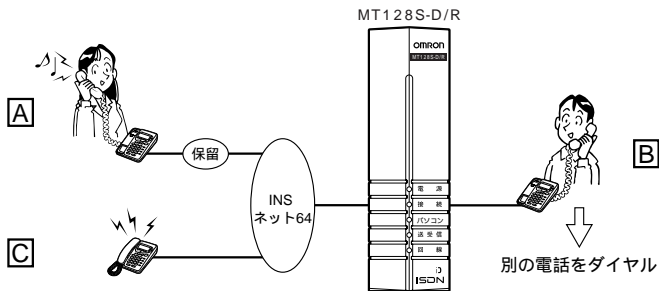
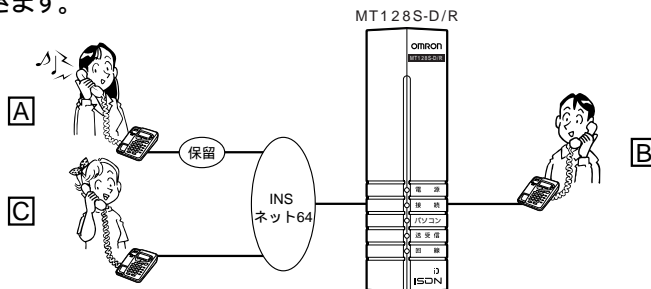
● NTTフレックスホン
（黒丸がつくようにしてください）

④ 設定 をクリックしてください。「オムロンMT128S簡単設定ユーティリティ」画面に戻ります。

⑤ 終了 をクリックしてください。

⑥ 終了画面が表示されますので「設定を保存して終了する」を選び（黒丸がつくようにしてください）、終了 をクリックしてください。

以上で設定が終りました。

■三者通話の操作手順

① 相手（A）との通話中にフッキングしてから、続けて 1 を押します。
→第1発信音「ツー」が聞こえます。

② 別の相手（C）の電話番号をダイヤルします。この間、A には保留音が流れます。

③ 相手（C）が出たらフッキングしてから、続けて「0」を押します。すると3人で同時に通話ができます。

④ 通話が終ったら、受話器を置いてください。

● **フッキングとは**
電話機のフックボタンを約1秒未満押すことです。1秒以上押すと電話が切れることがあります。

● 三者通話中に（B）が受話器を置くと、3人の通話がすべて切断されます。
● 三者通話中に一方の相手（AまたはC）が電話を切っても、もう一方の方との通話は継続できます。

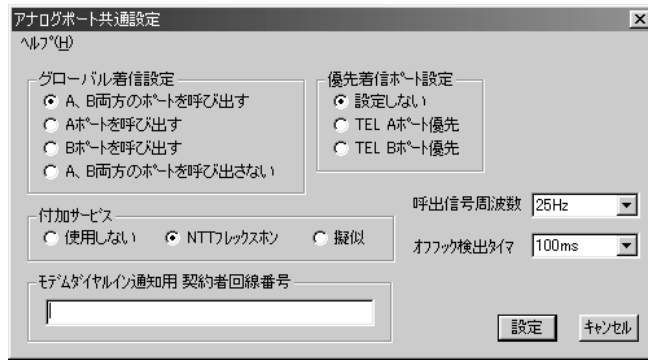
留意事項

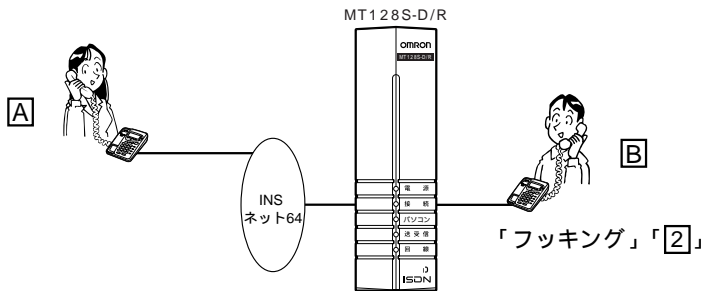
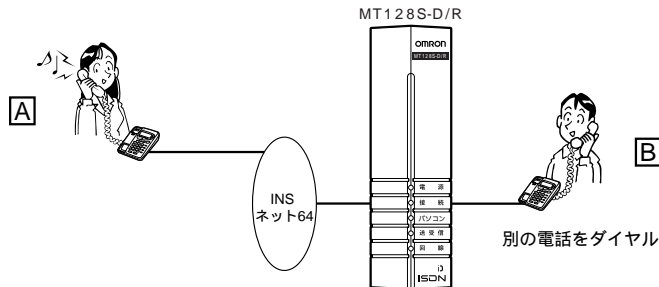
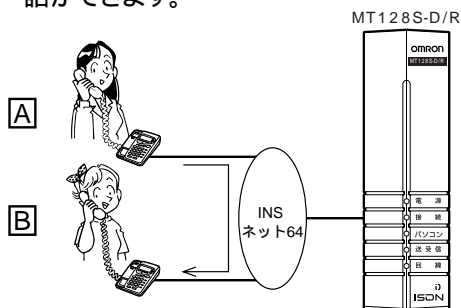
●三者通話の料金は、発信を行った方の通話料金となります。
●三者通話を使用しているときには、他のアナログポートで、フレックスホンサービスを使用しないでください。

7- 3.通話中の電話を他の電話に転送したい。(通信中転送)

「通信中転送」を契約するとかかってきた電話を別の相手に転送できます。

■ 設定方法

簡単設定ユーティリティを起動してください。起動方法はP58以降を参照してください。アナログポート設定の中の 共通 をクリックし、「付加サービス」を「NTTフレックスホン」に設定します。

■通信中転送の操作手順

①相手(A)との通話中にフッキングしてから、続けて 2 を押します。
→第1発信音「ツー」が聞こえます。

② 別の相手(C)の電話番号をダイヤルします。

③ 相手（C）が出たら、フッキングしてから、続けて「0」を押します。すると、A と C との間で通話ができます。

● **フッキングとは**

電話機のフックボタンを約1秒未満押すことです。1秒以上押すと、電話が切れることがあります。

フックボタン

● **転送先が応答する前でも転送できます**

② の呼び出し中に受話器を置いてください。

● **②で、別の相手（C）が通話中のときは**

フッキングにより、元の相手（A）と通話ができます。

留意事項

● **通信中転送を使用しているときには、他のアナログポートでフレックスホンサービスを使用しないでください。**

7- 4. かかってきた電話を他の電話に転送したい（着信転送）

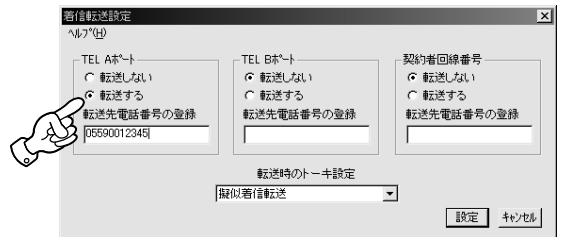
「着信転送」を契約すると、着信した電話をあらかじめ設定した転送先電話番号へ自動的に転送できます。

■着信転送の設定手順

簡単設定ユーティリティの使用方法については、P56以降を参照してください。

1. 簡単設定ユーティリティを起動し、以下のように設定してください。

①アナログポート設定の中の 共通 をクリックし、「付加サービス」を「NTTフレックスホン」に設定します。

② 着信転送 をクリックし、「着信転送設定」を「転送する」に設定します。（TEL Aポート、TEL Bポートまたは契約者回線番号それぞれ設定可能です。着信転送したいポートのみ行ってください。）

③ 「転送時のトーキ設定」で転送トーキの使用方法を次の中から設定します。

- **擬似着信転送**
- **NTT着信転送1：転送トーキなし／転送元トーキなし**
- **NTT着信転送2：転送トーキあり／転送元トーキなし**
- **NTT着信転送3：転送トーキなし／転送元トーキあり**
- **NTT着信転送4：転送トーキあり／転送元トーキあり**

④「転送先電話番号の登録」転送先の電話番号を入力してください。

契約者回線番号にかかってきたときに転送させる場合	：契約者回線番号の着信転送設定枠の「転送先電話番号の登録」欄に転送先の電話番号を入力します。
TEL Aポートに登録した電話番号にかかってきたときに転送させる場合	：TEL Aポート枠着信転送設定の「転送先電話番号の登録」欄 に転送先の電話番号を入力します。
TEL Bポートに登録した電話番号にかかってきたときに転送させる場合	：TEL Bポート枠の「転送先の電話番号」欄に転送先の電話番号を入力します。

登録方法は、入力欄の項目をチェックし、カーソルを左につめて、電話番号を市外局番から区切り文字（ー）を除いて半角文字で入力します。

⑤ 入力が終わったら、［閉じる］をクリックしてください。「オムロンMT128S簡単設定ユーティリティ」画面に戻ります。

⑥ メニューバーの「ファイル」をクリックし、［終了］をクリックしてください。

⑦ 終了画面が表示されますので「保存して終了」を選び（黒丸がつくようにしてください）、［はい］をクリックしてください。

2．着信転送を設定します。

①アナログポートの受話器を上げ、［＊］［＊］［1］［2］［8］をダイヤルしてください。
→「ツ・ツ・ツ・ツ・ツー」という音が聞こえます。
設定のモードに入りました。
（この音声が聞こえない場合は設定モードになっていません。再度やり直してください。）

② 次ページ（表：転送条件）から、設定したい着信転送の条件を選び、電話機から設定を行ってください。
（例）契約者回線番号にかかってきたときに転送させる場合
・電話機から［0］［7］［＊］［1］［＊］［＊］をダイヤルします。
・設定完了音「ツ・ツ・ツ」と3回聞こえます。
（間違っている場合は「ツ・ツ・ツ・ツ・ツ」と5回聞こえます。その場合は、再度ダイヤルしてください。）

③ 電源ランプが点滅します。（P12参照）
以上で設定が終わりました。

3．着信転送を解除します。

①アナログポートの受話器を上げ、[＊][＊][1][2][8]をダイヤルしてください。
→「ツ・ツ・ツ・ツ・ツー」という音が聞こえます。
設定のモードに入りました。
（この音声が聞こえない場合は設定モードになっていません。再度やり直してください。）

②下表（表：転送条件）から、解除したい着信転送の条件を選び、電話機から設定を行ってください。
（例）契約者回線番号にかかってきたときの転送設定を解除する場合
・電話機から[0][7][＊][2][＊][＊]をダイヤルします。
・設定完了音「ツ・ツ・ツ」と3回聞こえます。
（間違っている場合は「ツ・ツ・ツ・ツ・ツ」と5回聞こえます。その場合は、再度ダイヤルしてください。）

③電源ランプが点滅から点灯に変わります。（P12参照）

以上で設定が終わりました。

転送の条件	設定	解除
契約者回線番号にかかってきたときに転送させる	07＊1＊＊	07＊2＊＊
TEL Aポートに登録した電話番号にかかってきたときに転送させる	07＊3＊＊	07＊4＊＊
TEL Bポートに登録した電話番号にかかってきたときに転送させる	07＊5＊＊	07＊6＊＊

留意事項

● 転送元および転送先の電話番号は最大20桁、転送元サブアドレスは最大5桁です。
● 「グローバル着信を利用しない」の契約のときに、契約者回線番号で着信転送をするときは、アナログポートの電話番号に契約者回線番号を設定してください。
● 着信転送を使用するときは、アナログポートおよび転送先の電話番号を必ず設定してください。
● 転送元では、呼び出し音は鳴りません。
● i・ナンバーを使用する場合は、「契約者回線番号にかかってきたときに着信転送させる」機能のみ使用することができます。ただし、契約者回線番号・追加番号にかかわらず、かかってきた電話は、登録された電話番号に転送されます。

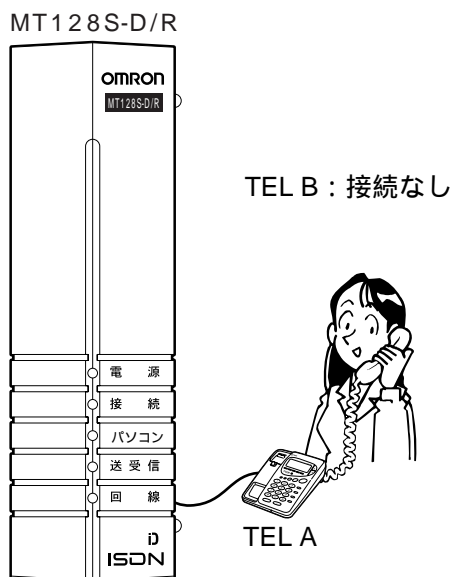
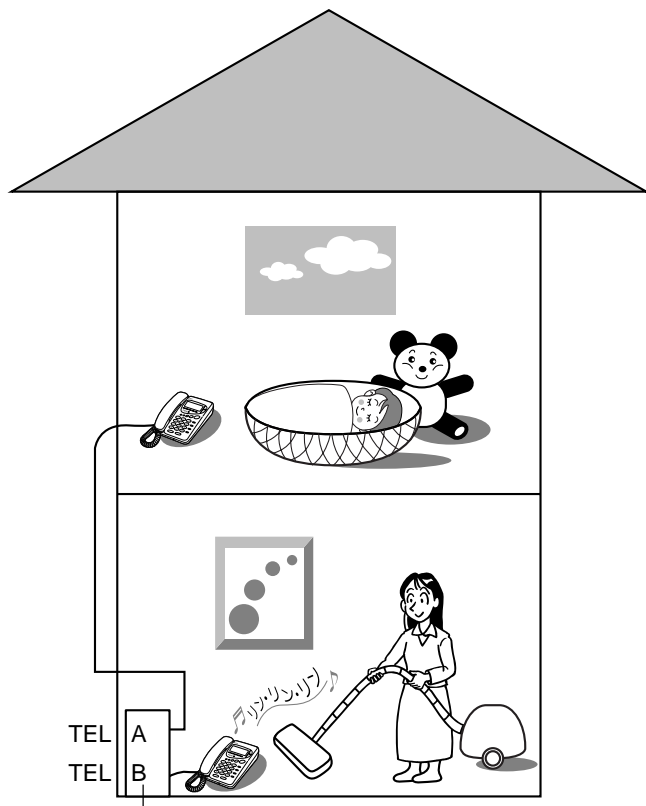
● 転送トーキ、転送元トーキのメッセージ内容
電話が転送されるとき、NTTからメッセージ（転送トーキ）が流れます。
・転送トーキ　：「ただいま電話を転送しております。そのまましばらくお待ちください。」
・転送元トーキ：「電話が転送されますので、そのままお待ちください。」

8．片方のアナログポートをふさぎたい（着信拒否）

着信拒否の設定をすると、そのポートは電話を受けることができなくなります。
・2つのポートのうち1つのポートにしか電話機を接続しない。
・2つのポートのうち1つのポートにモデムを接続している。

■設定方法

簡単設定ユーティリティを起動します。起動方法はP58以降を参照してください。ふさぎたいポート（TEL AまたはTEL B）を開いてください。
着信拒否を「する」に設定します。

ご使用の回線が契約者回線番号のみの契約のとき、以下の設定を行うと2回目の着信は話中になります。（TEL Aポートにのみアナログ機器を接続する場合は、この設定を行ってください。）

●こんなときに使うと便利です。

- 2階で子供が寝ている間に1階で用事を済ませたいとき
- 本製品に1台のみ電話機を接続して使用しているときの空いているポートに着信させないようにする。
- 電話機とモデムをアナログポートに接続したいようにする(発信のみに使用)

こんなとき着信したくないポートにこの設定をすると、設定したポートの着信が拒否され、発信のみ使用可能となります。

9．内線電話をかけたい/受けたい（内線通話）

2つのアナログポートにつないだ電話機同士で通話ができます。

以下はTEL Aポートにつないだ電話機からTEL Bポートにつないだ電話機に電話をかける例です。

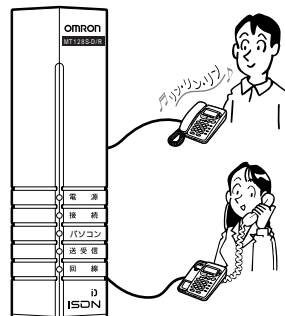
■ 手順

① TEL Aポートの受話器を上げてください。

→第1発信音「ツー」が聞こえます。

② ⊠⊠⓪ をダイヤルしてください。

→呼出音「プルプル、プルプル」が聞こえます。

※通話終了後、受話器をおいてください。

10．外からの電話をとりつぎたい（内線転送）

外からかかってきた電話をもう一方のアナログポートの電話機に転送できます。

契約： 不要

設定（簡単設定ユーティリティ）： 要（アナログポート共通設定「付加サービス P62参照」）

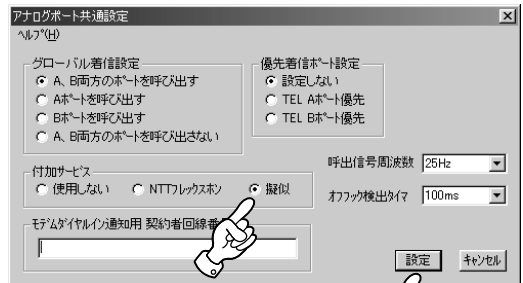
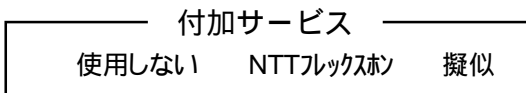
■簡単設定ユーティリティを使用した設定例

簡単設定ユーティリティの使用方法については、P56以降を参照してください。

① **簡単設定ユーティリティを起動してください。**

② **共通 をクリックしてください。**

③ **アナログポート共通設定画面が表示されますので、右図の様に設定してください。**
・付加サービス：擬似

付加サービス
○ 使用しない ○ NTTﾌﾚｯｸｽﾎﾝ ● 擬似

④ **設定 をクリックし、「オムロンMT128S簡単設定ユーティリティ」画面に戻ります。**

アナログポートの使用方法

⑤ [終了] をクリックしてください。終了画面が表示されていますので「設定を保存して終了する」を選び（黒丸がつくようにしてください）、[終了] をクリックしてください。

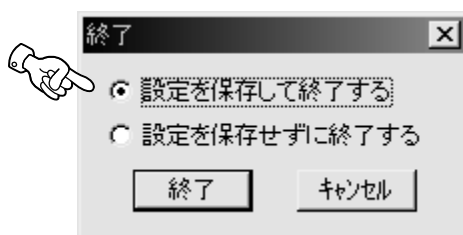
終了

◉ 設定を保存して終了する

○ 設定を保存せずに終了する

[終了] [キャンセル]

以上で設定が終りました。

■ 手順

① 通話中にフッキングしてから、続けて[2]を押します。
　→第1発信音「ツー」が聞こえます。通話していた相手は保留になります。

② [＊][＊][0] をダイヤルしてください。ダイヤル直後に通話が転送されます。
　→転送先は呼出音「プルルル、プルルル」が聞こえます。
　　＊外線からの着信と同じ呼び出し音になります。

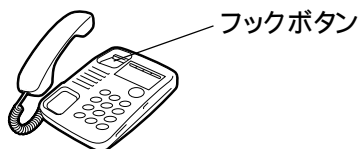
③ 転送した相手が受話器を上げると、転送が完了します。

留意事項

● 転送先にダイヤルする前に受話器を置くと、すぐに着信音が鳴り、受話器を上げると外の相手との通話に戻ります。

● 一部機種のコードレス電話機の子機では「内線転送」が使えない場合があります。

● **フッキングとは**

電話機のフックボタンを約1秒未満押すことです。1秒以上押すと電話が切れることがあります。

11．短縮番号で電話をかけたい

よく使う電話番号を、短縮番号として登録すると2つのボタンを押すだけで電話をかけられます。

契約：不要

設定（簡単設定ユーティリティ）：要（短縮／識別着信番号登録「短縮番号 P61参照」）

■**設定方法**

簡単設定ユーテイィリティを起動します。起動方法は、P58以降を参照してください。

短縮番号を設定したいアナログポートの「短縮／識別着信番号登録」をクリックすると、以下の画面が表示されますので、アドレス欄に電話番号を入力し、登録をクリックして設定します。入力の際には(－)ハイフンなし･半角文字で入力してください。

■ **手順**

① **受話器を上げてください。→第1発信音「ツー」が聞こえます。**

② **[＊] を押してください。**

③ **短縮番号（[0]～[9]）を押してください。**

＊通話終了後、受話器をおいてください。

留意事項

- **相手先の電話番号が短縮番号に登録されていない番号のときは、話中音が聞こえます。**
- **短縮番号の登録は簡単設定ユーティリティで行います。（P61参照）**

12 . 識別着信番号に登録した電話番号のみとりたい(識別着信)

識別着信番号に登録した電話番号の相手からのみ、電話を受けられます。

契約： 不要

設定（簡単設定ユーティリティ）： 要

・TEL A,TEL Bポート設定
「識別着信 P60参照」
・短縮／識別着信番号登録
「識別番号 P61参照」

■設定方法

簡単設定ユーティリティを起動します。起動方法はP58以降を参照してください。

①識別着信をするアナログポート（TEL AまたはTEL B)を開いてください。
識別着信を「する」に設定します。

②「短縮／識別着信番号」をクリックし、電話番号を入力し、 登録 をクリックします。

アナログポートの使用方法

■操作手順

①アナログポートに電話機をつないでください。（別冊「はじめにお読みください」参照）
（TEL A,TEL Bのどちらにつないでもかまいません）

②電話機の呼び出し音が鳴ったら、受話器を上げてください。
＊通話終了後、受話器をおいてください。

留意事項

● 以下の場合は着信しません。（相手には、話中音が聞こえます。）
・「発信者番号通知なし」で電話がかかってきたとき。
・ 識別番号を登録していないとき。

● INSナンバー・ディスプレイを契約していないときは、デジタル網からの着信のみ識別着信が可能です。

● 識別着信番号を登録するときは、市外局番から登録してください。

■簡単設定ユーティリティの使用

●簡単設定ユーティリティの機能

簡単設定ユーティリティを使うと、以下の設定をさらに簡単に行うことができます。

(1) NTTのフレックスホンサービスやアナログポートの設定
(NTTフレックスホンサービスを使用するには、あらかじめNTTとの契約が必要です。)
(2) 電話番号登録
短縮番号やアナログポートの電話番号の登録
(3) データ通信関係の設定
データ通信を行うときの信号制御
(4) アップグレード
ファームウェア(内部プログラム)を最新のものに変更できます。

留意事項

- **ファームウェアについての情報は、Nifty-Serveのモデムフォーラム"SMODEMVA"および当社インターネットホームページ(http://www.omron.co.jp/ped-j/index.html)よりご提供する予定です。**

●操作を始める前に

簡単設定ユーティリティは、本製品付属のCD-ROMに入っています。
CD-ROMの中のフォルダをパソコンにコピーして使用してください。

留意事項

- **簡単設定ユーティリティは、端末速度38400bps固定です。**

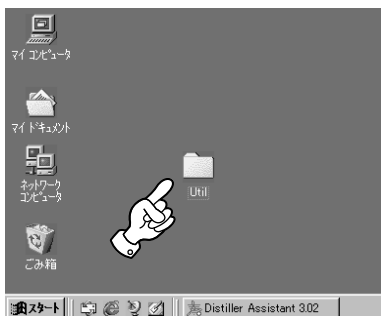
●インストール(導入)-Windows/Macintosh-

インストールする前に、パソコンと本製品を正しく接続し、モデム設定ファイルをインストール後、以下の手順でインストールを行なってください。(詳しくは、別冊の「はじめにお読みください」をご参照ください。)

1. **付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに入れてください。**

Windows

2. **デスクトップ画面の「マイコンピュータ」をダブルクリックしてください。下図の様な画面が表示されます。続けて、CD-ROMのアイコンをダブルクリックしてください。その中の「Win」フォルダをダブルクリックしてください。**

3. **「Easy_set」フォルダをデスクトップ等にコピーしてください。コピーの方法については、Windowsのマニュアルを参照してください。**

4. **インストールが終了しました。**

Macintosh

2. **デスクトップ画面のCD-ROMアイコンをダブルクリックしてください。下図の様な画面が表示されます。その中の「Mac」フォルダをダブルクリックしてください。**

3. **「Easy_set」フォルダをデスクトップ等にコピー(ドラッグ・アンド・ドロップ)してください。コピー(ドラッグ・アンド・ドロップ)の方法については、Macintoshのマニュアルを参照してください。**

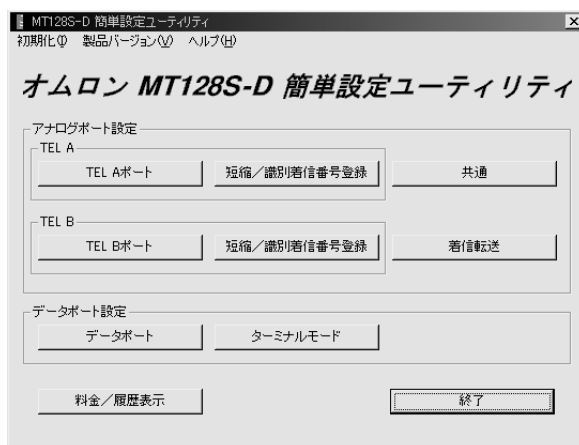
● **簡単設定ユーティリティを削除するには(Windows,Macintosh共通)**

パソコンのデスクトップに表示されている「Easy-set」アイコンを、ごみ箱にドラッグ・アンド・ドロップしてください。

●設定を行うには？

インストールが終了したら設定ユーティリティを使用し設定を行なうことができます。設定方法はOSによる違いはほとんどありません。ここではWindows 98での画面を例に説明します。

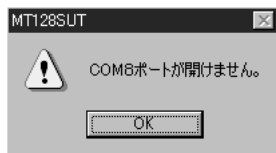
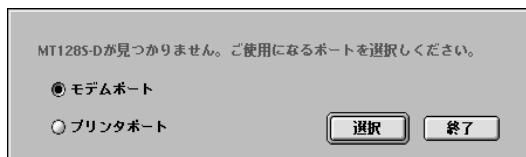
■簡単設定ユーティリティの起動と終了

簡単設定ユーティリティを起動するときは、必ず付属のRS232-Cケーブルで端末(DTE)接続コネクタとパソコンのRS232-Cインターフェースを接続してください。
（別冊「はじめにお読みください」参照）
デスクトップにある「Easy_set」フォルダの中にある「MT128SUT.exe」をダブルクリックしてください。簡単設定ユーティリティが起動し、「オムロンMT128S簡単設定ユーティリティ」の画面が表示されます。

「オムロンMT128S簡単設定ユーティリティ」の画面

簡単設定ユーティリティを終了するときは、「オムロンMT128S簡単設定ユーティリティ」の画面が表示されているとき、画面上のメニューバーの「ファイル」をクリックし、その中の「終了」をクリックしてください。

留意事項

● 簡単設定ユーティリティを起動するときは、以下の画面が表示されることがあります。

Windowsのとき

Macintoshのとき

この画面は以下のときに表示されます。

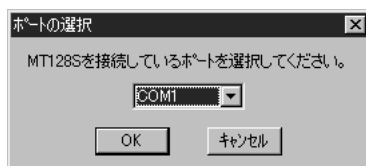
(1)電源コードやケーブルが正しくつながれていない。

別冊「はじめにお読みください」を参照し、接続を確認してください。

Windows98の場合は　P8「■ パソコンとの接続」

Macintoshの場合は　P27,33,39「1 パソコンとの接続」

(2)他の通信ソフト等を使っている。

(1)～(2)が当てはまらないことを確認し、Macintoshのときは[選択]を、Windowsのときは「OK」をクリックしてください。Windowsのときは、以下の画面が表示されます。

本製品とつながっているCOMポートを選び、「OK」をクリックしてください。

「オムロンMT128S簡単設定ユーティリティ」の画面が表示されます。

もし、「オムロンMT128S簡単設定ユーティリティ」の画面が表示されないときは、当社カスタマサポートセンタ(TEL：0559-77-4717)までご連絡ください。

■各設定画面の機能

1.TEL A, TEL Bポート設定

「オムロンMT128S簡単設定ユーティリティ」画面でTEL AあるいはTEL B の TEL Aポート ・ TEL Bポート をクリックすると以下の画面が表示されます。

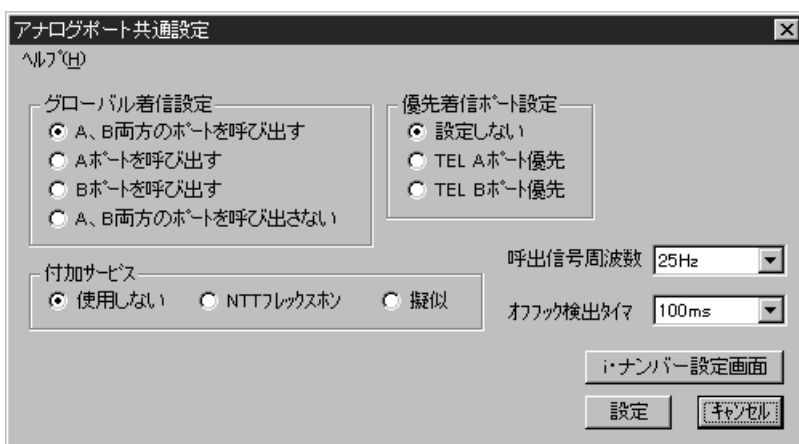
項　目	工場出荷値	説　明	参　照
電話番号		電話番号とサブアドレスを設定します。	
ナンバー・ディスプレイ	使用しない	接続したアナログ機器がナンバー・ディスプレイに対応しているときは「使用する」、対応していないときは「使用しない」に設定してください。	P31
発信者番号通知	通知する	発信するとき、電話番号(契約者回線番号またはダイヤルイン番号)を相手に通知するかどうかを設定します。(サブアドレスも通知することができます。)	P33
着信拒否	しない	発信専用として使いたいときは「する」に設定してください。(着信しなくなり、電話を受けることができなくなります。)	P48
識別着信	しない	「する」にチェックすると、識別着信番号として設定した相手の電話番号かの着信以外は受け付けません。識別着信を使用しないときは「しない」に設定してください。	P54
桁間タイマ	5 秒	アナログポートのダイヤル桁間タイマを設定します。通常は「5 秒」のままご使用ください。	

2.短縮／識別着信番号登録

「オムロンMT128S簡単設定ユーティリティ」画面でTEL AあるいはTEL Bの
短縮／識別着信番号登録 をクリックすると以下の画面が表示されます。
相手の方の電話番号（最大20桁）とサブアドレス（最大5桁）を入力してください。
※電話番号は、市外局番より区切り文字（ー）を除いて、半角文字で入力してください。

短縮番号登録画面

3. アナログポート共通設定

「オムロンMT128S簡単設定ユーティリティ」画面で 共通 をクリックすると以下の画面が表示されます。

項　目	工場出荷値	説　明	参　照
グローバル着信設定	A, B両方のポートを呼び出す	相手が契約者回線番号にダイヤルしたときに、呼び出しを行なうポート（TEL A, TELBポート）を設定します。「A,B両方のポートを呼び出さない。」に設定すると、一切電話を受けなくなります。発信専用で使用したいときに設定してください。	P27
優先着信ポート	設定しない	優先着信ポートを設定すると、そのポートに優先して着信させることができます。	P23
付加サービス	使用しない	NTTフレックスホンサービスまたは擬似のコールウェイティング、通信中転送や三者通話を使用するときに設定します。	P36,40, 43
呼出信号周波数	25Hz	アナログポートに接続した機器の呼出音が鳴らないときに調整します。（通常は工場出荷値のままで使用してください。）	
オフフック検出タイマ	100ms	アナログポートに接続した機器の呼出音が鳴らないときに調整します。（通常は工場出荷値のままで使用してください。）	
i･ナンバー設定画面	使用しない	NTT i･ナンバー契約し、アナログポートに接続した機器の呼びわけをする際に設定を行います。	P24

4.着信転送設定

「オムロンMT128S簡単設定ユーティリティ」画面で 着信転送 をクリックすると以下の画面が表示されます。

項　目	工場出荷値	説　明	参　照
着信転送設定	転送しない	「転送する」に設定すると、着信転送を行なうことができます。ただし、「転送先電話番号」を設定する必要があります。	P45
転送先電話番号の登録	（空白）	着信転送を行なうときの転送先電話番号（最大20桁）を設定します。	P46
転送時のトーキ設定	擬似着信転送	着信転送を行なうときのトーキ設定を設定します。	P45

5.データポート設定

「オムロンMT128S簡単設定ユーティリティ」画面で データポート をクリックすると以下の画面が表示されます。

項　目	工場出荷値	説　明	参　照
電話番号の登録	(空白)	電話番号とサブアドレスを設定します。	
切断タイマ	10分	データ送受信が設定時間以上ないときに回線を切断します。0～30分の間で設定できます。	
発信者番号通知	通知する	発信するとき、電話番号(契約者回線番号またはダイヤルイン番号)を相手に通知するかどうかを設定します。(サブアドレスも通知することができます。)	P33
グローバル着信	する	相手が契約者回線番号にダイヤルしたときに、呼び出しを行うかどうかを設定します。	P27
ER信号制御	パソコンのER信号に従う	パソコンの動作準備ができているかどうかを本製品に知らせる信号です。 「常時ONとみなす」に設定すると、まれに通信を終了した後も電話回線がつながった状態となり電話料金が課金されることがあります。そのため通信を終了したときは、必ず本製品前面の接続ランプが消えていることを確認してください。 万一接続ランプがついているときは、本製品の電源を切/入してください。	

項　目	工場出荷値	説　明	参　照
Bチャネルを流れるデータ量	0kbps	スループットBODのしきい値を設定します。 スループットBODを使用しないときは0kbpsにしてください。（通常128kbpsで通信します。）	
リンク追加監視時間	5秒	リンク追加監視時間を設定します。（スループットBOD使用時）1〜255秒の間で設定できます。	
リンク追加固定時間	30秒	リンク追加固定時間を設定します。（スループットBOD使用時）1〜255秒の間で設定できます。	
リンク削除監視時間	5秒	リンク削除監視時間を設定します。（スループットBOD使用時）1〜255秒の間で設定できます。	
リンク削除固定時間	30秒	リンク削除固定時間を設定します。（スループットBOD使用時）1〜255秒の間で設定できます。	
リソースBOD	使用しない	使用しない： リソースBODを使用しません。 使用する： MP128kbpsで通信しているときアナログポートが発着信すると、リソースBODが動作します。	

留意事項

- **リソースBODを利用するときは、NTTとの通信中着信サービスの契約が必要です。**
- **スループットBODを利用するときは、契約しているプロバイダがBACP（Bandwidth Allocation Control Protocol）に対応しているかをご確認ください。**
  対応していない場合は、ご利用できません。

6.ターミナルモード

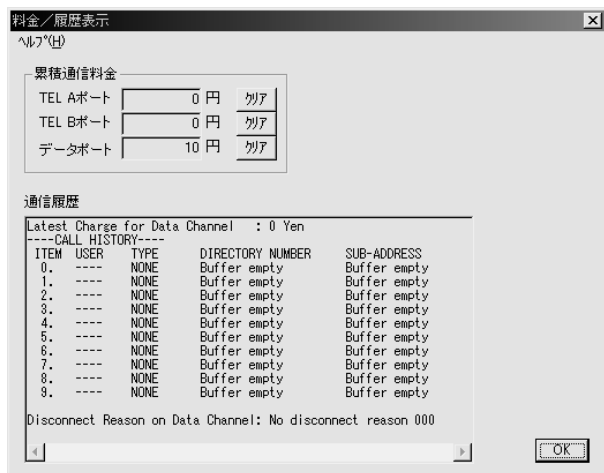
「オムロンMT128S簡単設定ユーティリティ」画面のメニューで「ターミナルモード」をクリックすると、以下の画面が表示されます。

上記の画面を表示し、ターミナルモードの入力画面となり、ATコマンドが入力できます。
日本語(2バイトコード)の入力や表示はできません。すべて半角英数の入力となります。ATコマンドにつきましてはP68をご覧ください。

7.料金／履歴表示

「オムロンMT128S簡単設定ユーティリティ」画面で 料金／履歴表示 をクリックすると、以下の画面が表示されます。

「累積料金表示」は累積した通信料金をポートごとに表示しています。

「リセット」は、通信料金データを 0 Yenにします。

「履歴表示」について

- 「USER」は、どのポートの発着信だったかを表示します。
  A .... TEL Aポート
  B .... TEL Bポート
  D .... データポート
- 「TYPE」は発信・着信を表示します。
  INCOMING .... 着信
  OUTGOING ... 発信
- 「DIRECTORY NUMBER」、「SUB-ADDRESS」は、相手の電話番号-サブアドレスを表示します。

留意事項

- **本製品の電源を切ると通信料金表示はクリアされます。**
- **表示される料金情報は、INSネット64からの料金情報をもとに表示していますので、請求金額と一致しないことがあります。また、相手先によっては、料金情報が通知されません。目安としてお使いください。**
- **ファームウェアアップグレード についてはは次ページをご覧ください。**

8. その他の機能

① 初期化（工場出荷値に戻すことができます）
メニューバーの「初期化」をクリックすると、MT128S-D/Rの設定を工場出荷値に戻します。

留意事項

- 「初期化」をクリックすると、すぐに初期化の動作を行います。
- 電話機で通話しているときは、メニューバーの「初期化」をクリックしないでください。電話が切れます。
  また、MT128S-D/Rの初期化動作中は通話することができません。

■ファームウェアのアップグレード方法

ファームウェアのアップグレードは、当社からお客様へ新しいファームウェア（内部プログラム）をご提供するときのみ使用する機能です。

留意事項

- 新しいファームウェア、アップグレード手順はNifty-Serveのモデムフォーラム"SMODEMVA"および当社インターネットホームページ（http://www.omron.co.jp/ped-j/index.html）よりご提供する予定です。詳細等につきましては、当社カスタマサポートセンタ（TEL：0559-77-4717）までご連絡ください。

■ATコマンド

ATコマンドは米国ヘイズ社によって開発されたモデム用コマンドです。必要なATコマンドを（例えばATD）入力することで、通信することができます。

■ ATコマンドの体系

ATコマンドでは、端末がモデムに送る命令を「コマンド」、命令に対してモデムから端末に返される文字列を「リザルトコード」と呼びます。ATコマンドは必ずATという文字で始め、最後にリターンキーを入力してください。ATに続くコマンドは1行に複数入力することができます。大文字（AT）と小文字（at）の両方が使えます。（ただし、大文字と小文字の混在はできません）

（1）コマンド

ATコマンドのフォーマットは次のようになります。

AT	コマンド	パラメータ	コマンド	パラメータ・・・・	CR	LF

最大２５５文字　　※LFコードは省略可能

（2）リザルトコード

リザルトコードには単語と数字の形式があり、次のようなフォーマットになります。

CR	LF	リザルトコード（単語）	CR	LF

リザルトコード（数字）	CR

留意事項

- **ATコマンドはそれぞれの通信ソフトのメイン画面でターミナルモードと呼称されているウインドウが開いているとき、パソコンのキーボードよりAT××××と入力することにより入力できます。**

■ATコマンド一覧

コマンド	内　　容	初　期　値
ATA	手動着信応答	
ATD	ダイヤル発信	
ATEn	エコー指定	ATE1
ATH	着信拒否または切断	
ATIn	機器情報表示	
ATO	コマンド入力モードからデータ通信モードへ戻す	
ATQn	リザルトコード設定	ATQ0
ATSn	Sレジスタの設定、表示	
ATVn	リザルトコードフォーマット設定	ATV1
ATWn	リングリザルトコード指定	ATW0
ATXn	リザルトコードセット指定	ATX0
ATZ	パラメータの初期化	
AT&Cn	CD信号制御の設定	AT&C1
AT&Dn	ER信号制御の設定	AT&D2
AT&F	工場出荷値設定	
AT&Kn \Qn	フロー制御方式の設定	AT&K3
AT&Sn	DR信号制御の設定	AT&S0
AT&Vn	設定内容の表示	
AT&W	パラメータの保存	
AT&ZAn=x	TEL Aポート　短縮番号登録	
AT&ZBn=x	TEL Bポート　短縮番号登録	
AT%A2=n	データポート　通信方式の設定	AT%A2=5
AT%D	データポート　設定の表示	
AT%DC	通信料金表示と切断理由表示	
AT%N=x	データポート　電話番号/サブアドレスの登録	
AT%Sn	データポート　識別着信設定	AT%S1
AT$ACn	TEL Aポート　ナンバー・ディスプレイの設定	AT$AC0
AT$AN=x	TEL Aポート　電話番号/サブアドレスの登録	
AT$AO=n	TEL Aポート　発信時の属性設定	AT$AO=0
AT$APn	TEL Aポート　桁間タイマーの設定	AT$AP1
AT$ARn	TEL Aポート　着信拒否の設定	AT$AR0
AT$ASn	TEL Aポート　識別着信の設定	AT$AS1
AT$BCn	TEL Bポート　ナンバー・ディスプレイの設定	AT$BC0
AT$BN=x	TEL Bポート　電話番号/サブアドレスの登録	
AT$BO=n	TEL Bポート　発信時の属性設定	AT$BO=0
AT$BPn	TEL Bポート　桁間タイマーの設定	AT$BP1
AT$BRn	TEL Bポート　着信拒否の設定	AT$BR0
AT$BSn	TEL Bポート　識別着信の設定	AT$BS1
AT$CC	累積料金の表示	
AT$CD	アナログポート設定の表示	
AT$CGn	アナログポート　グローバル着信選択の設定	AT$CG2
AT$CGDn	データポート　　グローバル着信設定	AT$CGD0
AT$CIn	内線通話の設定	AT$CI1
AT$CPn	優先着信の設定	AT$CP1
AT$CSn	付加機能の選択設定（NTT、擬似）	AT$CS1

ATコマンド

コマンド	内　容	初　期　値
AT$CZn	累積料金の初期化	AT$CZ1
AT$CFn	着信転送機能の選択	AT$CF2
AT$I＝n	i･ナンバーの設定	AT$I＝0
AT$I1n	契約者回線番号ポートの設定	AT$I11
AT$I2n	追加番号ポートの設定	AT$I22
AT$S=n	サブアドレスの区切り設定	AT$S=0
AT$N9=n	切断タイマ時間設定	AT$N9=10
AT∗CFAn	TEL Aポート 着信転送の設定	AT∗CFA0
AT∗CFBn	TEL Bポート 着信転送の設定	AT∗CFB0
AT∗CFGn	グローバルポート 着信転送の設定	AT∗CFG0
AT∗CFA=x	TEL Aポート 着信転送先の設定	
AT∗CFB=x	TEL Bポート 着信転送先の設定	
AT∗CFG=x	グローバル着信時の着信転送先の設定	
AT∗ZAn=x	TEL Aポート 識別着信番号の登録	
AT∗ZBn=x	TEL Bポート 識別着信番号の登録	
AT∗ZDn=x	データポート 識別着信番号の登録	
AT∗Z!	識別着信番号の表示	
AT∗IAn	TEL Aポートの発信者番号通知の設定	AT∗IA1
AT∗IBn	TEL Bポートの発信者番号通知の設定	AT∗IB1
AT∗IDn	データポートの発信者番号通知の設定	AT∗ID1
ATUn	リソースBODの設定	ATU0
A/	直前のコマンドの再実行	
+++	エスケープコマンド“コマンド入力モード”	

■ATコマンドの説明

n :パラメータ(各数字)
x1:電話番号(最大20桁半角数字)
x2:サブアドレス(最大5桁半角数字)
【 】:工場出荷値

コマンド	機　能　概　略	パラメータ	パラメータの意味
ATA	マニュアルアンサー 手動着信応答		
ATD	ダイヤル発信 データ通信時、相手番号へ ダイヤル発信	0〜9 ＊ L	使用可能数字(電話番号20桁、サブアドレス5桁) サブアドレスの区切り(AT$Sコマンドによる) リダイヤル
ATEn	コマンドエコー設定 コマンド入力時のエコーバック	0 【1】	しない する
ATH	回路切断 通信中回線の切断または “ RING ”表示中に入力すること ことで着信拒否をします。		
ATIn	情報機器の表示	0 3	プロダクトコード 型式名、メーカー名
ATO	通信中にコマンド入力モード からデータ通信モードへ戻る		
ATQn	リザルトコード指定 応答コードの有無指定	【0】 1	リザルトコードを返す リザルトコードを返さない
ATSn=x	Sレジスタの設定	n x	レジスタの番号 設定値
ATSn?	Sレジスタの表示	n	レジスタの番号
ATVn	リザルトコードフォーマットの 指定1 応答コードのフォーマット指定	0 【1】	数字コード 英数コード
ATWn	リザルトコードフォーマットの 指定2 接続時のコネクト表示の指定	【0】 1	ベーシック(CONNECT) 拡張表示(CONNECTxxx) (PROTOCOLxxx) (CARRIERxxx)
ATXn	リザルトコードセットの指定	【0】 1	ベーシックリザルトコード(0〜4を返す) 拡張リザルトコード(全てのコードを返す)
ATZ	パラメータの初期化		パラメータの初期化 保存値の読み込み
AT&Cn	CD信号制御	0 【1】	CD信号はER信号に従う 通信中はCD信号常時ON
AT&Dn	ER信号制御	0 【2】	ER信号を常時ONとみなす パソコンからのER信号に従う
AT&F	工場設定値の読み出し		

ATコマンド

コマンド	機　能　概　略	パラメータ	パラメータの意味
AT&Kn AT\Qn	フロー制御	0 【3】	フロー制御しない RTS/CTSフロー制御
AT&Sn	DR信号制御	【0】 1	DR信号はER信号に従う 通信中はDR信号常時ON
AT&Vn	設定の表示	0 2 3	現在の設定を表示 電話番号、サブアドレス 短縮番号表示
AT&W	設定値の保存		設定値を保存します
AT&ZAn =x	TEL Aポート短縮番号登録 （例：AT&ZA0=123456789）	n x	0～9登録番号 電話番号
AT&ZBn =x	TEL Bポート短縮番号登録 （例：AT&ZA0=123456789）	n x	0～9登録番号 電話番号
AT%A2 =n	通信プロトコルの設定	【5】 6	PPP ML PPP（MP）
AT%D	データポートの設定表示 回線速度、DTE速度、キャラクタフォーマット、フロー制御、エコーバック、プロトコル、ER信号制御、DR信号制御、CD信号制御、識別着信、電話番号＊サブアドレス		
AT%DC	切断理由表示、通信料金表示		P66およびP76参照
AT%N =x	データポート電話番号登録 （例：AT%N=12345678, AT%N=12345678＊123）		電話番号＊サブアドレス （電話番号20桁、サブアドレス5桁） xに何も入力せず改行（リターン）キーを押すと、登録された電話番号を削除できます。
AT%Sn	データポート識別着信の設定	0 【1】	登録された5セットの番号と一致する時のみ着信 登録された5セットの番号と一致しなくても着信
AT$ACn	TEL Aポートナンバー・ディスプレイ設定の設定	【0】 1	ナンバー・ディスプレイを使用しない ナンバー・ディスプレイを使用する
AT$AN =x	TEL Aポート電話番号 設定（例：AT$AN=12345678, AT$AN=12345678＊123）	x	電話番号＊サブアドレス （電話番号20桁、サブアドレス5桁） xに何も入力せず改行（リターン）キーを押すと、登録された電話番号を削除できます。
AT$AO =n	TEL Aポート発信時の 属性設定 発信時電話、FAX、モデムの 属性設定	【0】 1	電話 FAX,モデム
AT$APn	TEL Aポートダイヤル 桁間タイマ	【1】 2 3 4	5sec 9sec 11sec 13sec
AT$ARn	TEL Aポート 着信拒否の設定	【0】 1	着信拒否しない 着信拒否する
AT$ASn	TEL Aポート識別着信の設定	0 【1】	登録された5セットの番号と一致するときのみ着信 登録された5セットの番号と一致しなくても着信

コマンド	機　能　概　略	パラメータ	パラメータの意味
AT$BCn	TEL Bポートナンバー・ディスプレイの設定	【0】 1	ナンバー・ディスプレイを使用しない ナンバー・ディスプレイ使用する
AT$BN =x	TEL Bポート電話番号 設定（例：AT$BN12345678 AT$BN12345678＊123）	x	電話番号＊サブアドレス （電話番号20桁、サブアドレス5桁） xに何も入力せず改行（リターン）キーを押すと、登録された電話番号を削除できます。
AT$BO =n	TEL Bポート発信時の 属性設定 発信時電話、FAX、モデムの 属性設定	【0】 1	電話 FAX,モデム
AT$BPn	TEL Bポートダイヤル 桁間タイマ	【1】 2 3 4	5sec 9sec 11sec 13sec
AT$BRn	TEL Bポート 着信拒否の設定	【0】 1	着信拒否しない 着信拒否する
AT$BSn	TEL Bポート識別着信の 設定	0 【1】	登録された5セットの番号と一致するときのみ着信 登録された5セットの番号と一致しなくても着信
AT$CC	累積料金の表示 TEL A,Bポート,データポート		
AT$CD	TEL ポートの設定表示 （A,Bポート） 電話番号、サブアドレス、属性、識別着信、グローバル着信、桁間タイマ、内線通話、コールウェイティング、優先着信		
AT$CGn	グローバル着信の設定 着信時にアドレス情報がないとき、どちらのアナログポートを呼出すかの設定	0 1 【2】 3	Aポートを呼出す Bポートを呼出す 両方のポートを呼出す 両方のポートを呼出さない
AT$CGDn	データポートの グローバル着信設定	【0】 1	呼出す 呼出さない
AT$CIn	内線通話の設定	0 【1】	内線通話使用しない 内線通話使用する
AT$CPn	優先着信の設定 アナログポートの両方呼出しできる状況で、どちらか一方を優先的に呼び出す設定	【1】 2 3	使用しない（両方呼出す） Aポート優先 Bポート優先
AT$CSn	付加サービスの設定 （コールウェイティング、 通信中転送、三者通話）	【1】 2 3	付加サービスを使用しない NTTの付加サービスを利用する 擬似付加サービスを使用する
AT$CZn	累積通信料金の初期化 TEL A,Bポート, データポート （例：AT$CZn=月-日-年/ AT$CZ1=04-01-1999）	【1】 2 3	TEL Aポートの初期化 TEL Bポートの初期化 データポートの初期化

ATコマンド

コマンド	機　能　概　略	パラメータ	パラメータの意味
AT$N9 =n	切断タイマの設定 データポート	0 n	切断しない 1～30　切断タイマ待ち（分、初期値 10）
AT$S=n	サブアドレスの区切り設定 サブアドレスの区切りとして、 どの文字を使用するかの設定	【0】 1 2 3	＊ # + ／
AT＊IAn	TEL Aポートの発信者番号 通知の設定	0 【1】	発番号通知しない 発番号通知する
AT＊IBn	TEL Bポートの発信者番号 通知の設定	0 【1】	発番号通知しない 発番号通知する
AT＊IDn	データポートの発信者番号通知 の設定	0 【1】	発番号通知しない 発番号通知する
AT＊Z!	識別着信番号の表示 TEL A/B,データポート		
A/	直前のコマンドの再実行		
+++	エスケープコマンド		データ通信中にコマンド入力モードに移行
AT＊ZAn =x	TEL Aポートの識別着信番 号の登録	n x	1～5登録番号 電話番号
AT＊ZBn =x	TEL Bポートの識別着信番 号の登録	n x	1～5登録番号 電話番号
AT＊ZDn =x	データポートの識別着信番号 の登録	n x	1～5登録番号 電話番号
AT$CFn	着信転送機能の選択	【1】 2 3 4 5	擬似着信転送 NTT着信転送1 NTT着信転送2 NTT着信転送3 NTT着信転送4
AT＊CFAn	TEL Aポートの着信転送の 設定	【0】 1	着信転送しない 着信転送する
AT＊CFBn	TEL Bポートの着信転送の 設定	【0】 1	着信転送しない 着信転送する
AT＊CFGn	グローバル着信時の着信転送 の設定	【0】 1	着信転送しない 着信転送する
AT＊CFA =x	TEL Aポートの着信転送先 の設定	x	転送先電話番号
AT＊CFB =x	TEL Bポートの着信転送先 の設定	x	転送先電話番号
AT＊CFG =x	グローバル着信時の着信転送 先の設定	x	転送先電話番号
ATUn	リソースBODの設定	【0】 1	リソースBOD使用しない リソースBOD使用する
AT$I=n	i・ナンバーの設定	【0】 1	i・ナンバー使用しない i・ナンバー使用する

コマンド	機 能 概 略	パラメータ	パラメータの意味
AT$I1n	契約者回線ポートの設定 契約者回線番号でかかってきたときに着信を受けるポートを設定します。	【1】 2 3	TEL Aポート TEL Bポート データポート
AT$I2n	追加番号ポートの設定 追加番号でかかってきたときに着信を受けるポートを設定します。	1 【2】 3	TEL Aポート TEL Bポート データポート

留意事項

●リソースBOD

MP128Kbpsデータ通信中であって、通信可能なBチャンネルがなくても、電話機から発信、通信ができます。

この時、MT128S-D/RがBチャンネルを自動的に1本空けて（データ通信は128Kbos→64Kbpsになります）通話可能な状態にします。

電話による通信が完了すると、自動的に128Kbpsデータ通信に復帰します。

●切断理由表示一覧

	表　示	理　由　種　別
	001	欠番
	002	中継網ルートなし
	003	相手ルートなし
	006	チャネル不許可
	007	設定済みのチャネルへの着呼
	016	正常切断
	017	着ユーザビジー
	018	着ユーザ応答なし
	019	相手ユーザ呼出中、応答なし
	020	加入者不在
	021	相手ユーザ通信拒否
	022	相手加入者番号変更
	026	選択されなかったユーザの切断復旧
	027	相手端末故障中
	028	無効番号フォーマット（不完全番号）
	029	ファシリティ拒否
	030	状態問い合わせ応答
	031	その他
	034	利用不可回線／チャネルなし
	038	網故障／チャネルなし
	041	一時的故障
	042	交換機輻輳
	043	アクセス情報破棄
	044	要求チャネル利用不可
	047	その他
	049	QOS利用不可
	050	要求されたファシリティ不可
	057	伝達能力不許可
	058	現在利用不可伝達能力
	063	その他
	065	未提供伝達能力指定
	066	未提供チャネル種別指定
	069	未提供ファシリティ要求
	070	制限デジタル情報能力のみ可能
	079	その他
	081	無効呼番号使用
	082	無効チャネル番号使用
	083	指定された中断呼識別番号未使用
	084	中断呼識別番号使用中
	085	中断呼なし
	086	指定された中断呼は既に切断復旧済み
	087	ユーザはCUGメンバではない
	088	端末属性不一致
	091	無効中断網選択
	095	その他
	096	必須情報要素不足
	097	メッセージ種別未定義
	098	呼状態とメッセージ不一致、またはメッセージ種別未定
	099	情報要素なし、または未定義
	100	無効情報要素内容
	101	呼状態とメッセージ不一致
	102	タイマー満了の回復
	111	その他
	127	その他

■Sレジスタ

レジスタ番号	内　容	範 囲	単　位	意　　味	初期値
0	自動応答	0 1〜255	回	自動応答しない 設定値の数だけ「RING」を着信後に自動応答する	0
1	RING送出	0255	回	「RING」を送出した回数を表示する	0
2	エスケープ文字	0 0〜127	ASCII	エスケープ文字なし 設定した文字をエスケープ文字とする	43
3	復帰文字 CARRIER RETURN	0〜127	ASCII	設定した文字を復帰文字とする	13 (CR)
4	改行文字 LINE FEED	0〜127	ASCII	設定した文字を改行文字とする	10 (LF)
5	後退文字 BACK APACE	0〜32	ASCII	設定した文字を後退文字とする	8 (BS)
26	CS遅延時間	0〜255	0.01SEC		1
107	スループット BODしきい値の 設定	0〜6	10Kbps	Bチャンネルに流れるデータ量 0.....0Kbps(初期値) 1.....10Kbps 2.....20Kbps 3.....30Kbps 4.....40Kbps 5.....50Kbps 6.....60Kbps	0Kbps
141	スループット BODリンク追加 監視時間	1〜255	SEC	時間毎にデータスループットの平均値を算出します。ここで算出された値がATS107より大きい場合はリンク追加要求を出します。	5
143	スループット BODリンク削除 固定時間	1〜255	SEC	データスループットの平均値が安定しているか確認するために、一定時間リンクの削除を行わず、設定時間経過後に再度データスループットの平均値をチェックし、この時同様にATS107で設定された値より小さい場合に、初めてリンクを削除します。具体的にはATS144によりリンク削除要求が出された時点から、リンク削除固定時間タイマーが開始され、このタイマーが働いている間はリンクの削除を行いません。	30

レジスタ番号	内　容	範　囲	単　位	意　　味	初期値
144	スループット BODリンク削除監視時間	1〜255	SEC	時間毎にデータスループットの平均値を算出します。ここで算出された値がATS107で算出された値より大きい場合はリンク削除要求を出します。	5
146	スループット BODリンク追加固定時間	1〜255	SEC	データスループットの平均値が安定しているか確認するために、一定時間リンクの追加を行わず、設定時間経過後に再度データスループットの平均値をチェックし、この時同様にATS107で設定された値より大きい場合に、初めてリンクを追加します。具体的にはATS144によりリンク追加要求が出された時点から、リンク追加固定時間タイマーが開始され、このタイマーが働いている間はリンクの追加を行いません。	30

■リザルトコード一覧

番号形式	単語形式	内　　容
0	OK	正常実行
1	CONNECT	接続完了
2	RING	着信検出
3	NO CARRIER	回線切断
4	ERROR	コマンドエラー
7	BUSY	相手通信中
12	CONNECT 9600	9600bps接続
14	CONNECT 19200	19200bps接続
28	CONNECT 38400	38400bps接続
18	CONNECT 57600	57600bps接続
19	CONNECT 64000	64000bps接続
20	CONNECT 115200	115200bps接続
21	CONNECT 230400	230400bps接続
50	CARRIER 9600	9600bpsキャリア検出
54	CARRIER 19200	19200bpsキャリア検出
56	CARRIER 38400	38400bpsキャリア検出
39	CARRIER 48000	48000bpsキャリア検出
57	CARRIER 57600	57600bpsキャリア検出
59	CARRIER 64000	64000bpsキャリア検出
86	PROTOCOL: PPP	PPP接続

■リザルトコードの説明

OK	コマンド正常終了
機能	次の条件の時に送出します。 ①コマンドが正常であったとき。（A,D,O コマンド実行時はなし） ②エスケープコマンドを入力しオンラインモードに入るとき。 ③オンラインコマンドモード時に ATH コマンドが入力され、通信が切断されたとき。
書式	OK
パラメータ	なし
出力例	OK

CONNECT	相手端末との接続完了
機能	相手と通信状態になったときに送出します。
書式	CONNECT< パラメータ >
パラメータ	< パラメータ >= なし：相手と通信状態になりました （リザルトコードセットが拡張のときに表示されます。） 9600：端末速度が 9600bps で接続完了しました。 19200：端末速度が 19200bps で接続完了しました。 38400：端末速度が 38400bps で接続完了しました。
出力例	CONNECT 38400

RING	着信通知
機能	着信があった場合、応答するまで一定間隔で通知します。
書式	RING ＜ﾊﾟﾗﾒｰﾀ＞＜ﾊﾟﾗﾒｰﾀ2 ＞
パラメータ	< パラメータ 1> 発信側のアドレス < パラメータ 2> 発信側のサブアドレス
出力例	RING

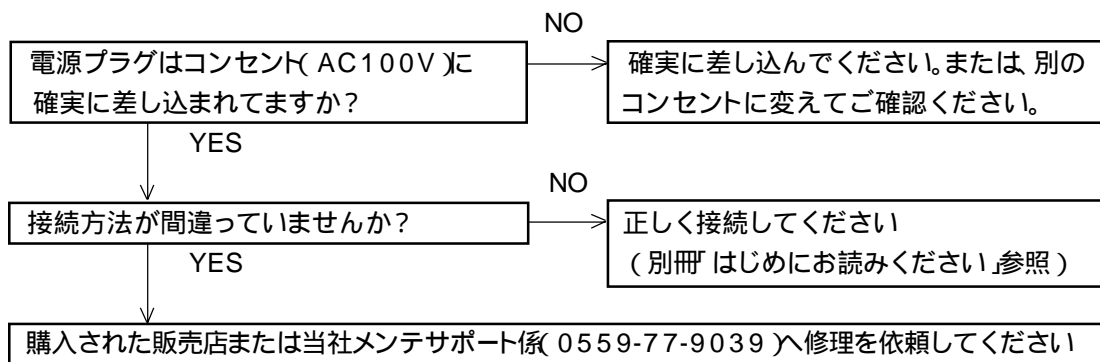
NO CARRIER	回線切断
機能	通信相手との接続に失敗したときに送出します。 また、通信中なんらかの原因で切断した場合も送出します。
書式	NO CARRIER
パラメータ	なし
出力例	NO CARRIER

ERROR	不正コマンド
機能	次の条件の時に送出します。 ①不正なコマンドが入力されたとき。 ②コマンド入力が最大文字数 255 文字を越えたとき。 ③ D コマンドで短縮番号を指定して発信しようとしたときに、短縮ダイヤルにアドレスが登録されていなかったとき。
書式	ERROR
パラメータ	なし
出力例	ERROR

BUSY	相手通信中
機能	相手が話中のため接続に失敗したときに送出します。
書式	BUSY
パラメータ	なし
出力例	BUSY

■お困りのときには

●故障かなと思ったときに（アナログポート）

(1)電源ランプが点灯しない

(2) TEL A,TEL Bポートに接続した電話機、ファクシミリ等が使えない

①回線ランプが速い点滅をして電話をかけることも、受けることもできない

極性リバーススイッチを切り替えてください。
①本製品の電源プラグを抜き、ISDN回線のモジュラーケーブルを抜いてください。
（乾電池を使用さ れている場合は、乾電池を抜いてください。）
②乾電池ケースの中にある極性リバーススイッチを切り替えてください。
③ISDN回線のモジュラーケーブルを差し込んでください。
④本製品の電源プラグを入れてください。（①で乾電池を抜いたときは、再度乾電池を入れてください。）

②電話がかけられない

NO
受話器を上げてダイヤルトーン(ツー音)が聞こえますか?
モジュラーケーブルがアナログポートに入っているか確認してください
YES
NO
アナログポートに電話機、ファクシミリ等が正しく接続されていますか?
正しく接続してください
YES
NO
アナログ機器の設定がプッシュ式(PB)になっていますか?
アナログ機器の設定をプッシュ式(PB)にしてください(詳細はアナログ機器の取扱説明書をご参照ください)
YES
YES
停電中ですか?
正常動作です
(普段より乾電池を入れておくことで、万一の停電の際、アナログ機器が使用できます)
NO
MT128S-D/Rの設定を工場出荷値に戻してみてください(参照P15,67)
電話がかけられない
本体の故障か回線の異常が考えられます
●NTTへISDN回線に異常がないか確認してください
●当社カスタマサポートセンタ(0559-77-4717)へお問い合わせください

③電話が受けられない

- ・電話機の呼出音が鳴らない
- ・通常とは異なる音
- ・ナンバーディスプレイが表示されない
- ・呼出音が1～2回鳴って切れる

このような現象が起こる場合は、以下の項目をご確認ください。

□グローバル着信の設定

「A,B両方のポートを呼び出す」に設定し、確認してください。（P27参照）

□ナンバーディスプレイの設定

ナンバーディスプレイを使用する方のみ「使用する」に設定してください。（P31参照）
また、NTTへナンバーディスプレイへの切り替え作業が終了しているかご確認ください。

□着信拒否の設定、識別着信の設定

着信拒否、識別着信を「しない」に設定し、確認してください。（P48,54参照）

□1つのアナログポートには電話機、ファクシミリは2台まで接続。

3台以上の接続は動作保証しておりません。必ず2台までにしてください。（P17参照）

□初期化する

MT128S-DRの設定を初期の状態に戻してください。（P15,67参照）

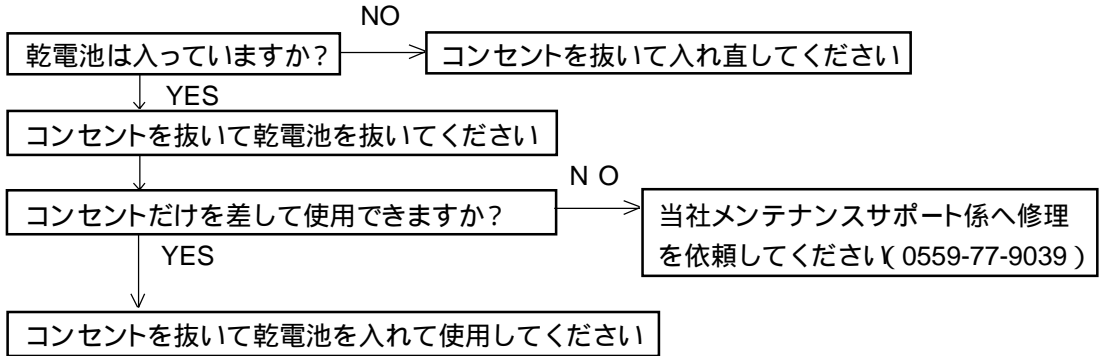
□呼出信号周波数・オフフック検出タイマの設定

呼出信号周波数またはオフフック検出タイマの値を変更して調整してください。(P62参照)

⇩電話が受けられない

本体の故障か回線の異常が考えられます

●NTTへISDN回線に異常がないか確認してください。
●当社カスタマサポートセンタ（0559-77-4717）へお問い合わせください。

④停電が回復しても使えない

⑤アナログ機器（電話機など）に雑音が入る
以下の点をご確認ください。

□親子電話の子機（コードレス）を使用しているときは、子機と親機の設置を近ずけてください。

□パソコン側のRS232-Cのケーブルを抜いた状態で雑音が入るか確認してください。

□INS回線ケーブルを抜いて雑音が入るか確認してください。

□パソコン側の電源プラグを一度抜いて180度回転させて差し込んでください。
（テーブルタップを使用している場合は、壁にさしているプラグを180度回転させて差し込んでください。）

□FG端子にアースをとってご確認ください。

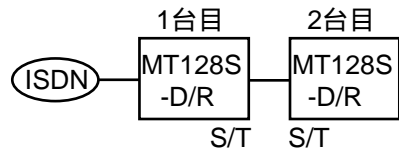
□プラグを抜いて、別のコンセントに差し込んでください。

以上の点をご確認いただいても改善されない場合は、当社カスタマサポートセンタ（0559-77-4717）へお問い合わせください。

●こんなときには（アナログポート）

(1) **付属INS回線ケーブルの長さが短いので延長したい。**
ご利用の環境に応じた長さのケーブルをパソコンショップなどでお求めください。
ケーブルの使用は6極4芯または6極2芯タイプです。

(2) **付属USBケーブルの長さが短いので延長したい。**
ご利用の環境に応じた長さのケーブルをパソコンショップなどでお求めください。
ただし、USBの規格内でご利用ください。

(3) **MT128S-D/Rを2台接続して使用したい。**
ご使用いただけません。
MT128S-D/RはDSUの切り離しはできません。
2台目のターミナルアダプタはDSUなし、またはDSU切り替えスイッチ付きの商品をご利用ください。

(4) **INSネット64の申込みの際、インターフェース形態およびレイヤ1起動種別は何を選んだらいいのか。**
P-MP常時を推奨します。

(5) **リソースBODを使用するには契約が必要ですか。**
INSネット64の申込みの際、「通信中着信通知サービス」を申し込んでください。

(6) **自動コレクトコールには対応していますか。** 対応しておりません。

■用語解説

A

●ATコマンド

米国ヘイズ社で開発されたモデムやターミナルアダプタを設定するためのコマンドです。ATコマンドを使用することによって、MT128S-D/Rの機能の設定や動作をさせることができます。

B

●Bチャンネル

INSネット64で音声やデータ、ファクシミリなどの情報を送受信するための情報チャンネルです。MT128S-D/Rは2本のBチャンネルを持っています。

●bps（bits per second）

1秒間に何ビット送れるかという通信速度の単位。2400bpsだと画面をスクロールしている文字を斜め読みして理解できる程度のスピード。数年前まではこのスピードが主流だったが、インターネットでは28800～64000bpsが主流。

C

●CD信号制御

AT&CコマンドにてCD信号制御の設定をします。AT&C0でCD信号はER信号に従う。AT&C1で通信中ON、のどちらかに設定します。

D

●Dチャンネル

INSネット64では送受信の回線制御のためにDチャンネルを使用して通信機器間で制御信号をやりとりしています。またパケット通信モードを利用するとDチャンネルを使用してパケットの送受信を行うことができます。

●DR信号制御

AT&SコマンドにてDR信号制御の設定をします。AT&S0でDR信号はER信号に従う。AT&S1で通信中ON、のどちらかに設定します。

●DSU（Digital Service Unit：回線接続装置）

デジタル通信に必要な同期、速度変換などの機能を持ち、ISDN回線にパソコンや、電話機などのアナログ機器を接続するときは必ず必要です。

●DTE（Data Terminal Equipment）

通信機能をもつパソコンなどのようなデータ端末装置のことをいいます。

E

●ER信号

本製品のパソコンランプがER信号を意味します。

●ER信号制御

AT&DコマンドにてER信号制御の設定をします。AT&D0でER信号は常時ON、AT&D2でパソコンのER信号に従う、のどちらかに設定します。

G

●G3ファクシミリ

電話回線（アナログ式）用のFAX通信手順、国際標準となっており、A4原稿が1分程度で送られます。他にG4というデジタル式の規格もあり、A4原稿を4秒程度で送ることができます。

I

●INSネット64

NTTがサービスしているISDN（サービス総合デジタル網）の名称で最大2B+D=144kbps（B：64kbps D：16kbps）の伝送容量をもっています。このBチャンネルの伝送容量64kbpsからとった名称です。

●IPアドレス（Internet Protocol アドレ

ス）

インターネットに参加するパソコンなどに割り当てられるアドレスです。IPアドレスはインターネットに参加しているどのパソコンなどとも重複しないようにIPアドレス管理機関で管理されています。

●ISDN（Integrated Service Digital Network）

デジタル情報を伝送する通信方式の国際規格で、NTT（INSネット64、INSネット1500）やKDDがサービスを提供しています。

M

●MP（Multi Link PPP）

2つのBチャンネルを束ねることで64kbps + 64kbps = 128kbpsでデータ通信するためのプロトコルです。

P

●PPP（Point To Point Protocol）

ターミナルアダプタが発信側、着信側ともに1台のみ回線に接続される形態です。

●P - M P(Point To Multi Point）

ターミナルアダプタが発信側、着信側共に1台または複数台、回線に接続される形態です。 MT128S-D/RはP-MP機器です。インターフェース線上の同一の送信部に複数の受信部が接続されている構成、または、同一の受信部に複数の送信部が接続されている構成をいいます。

R

●RS-CSフロー（ハードウエアフロー）制御

データポートのRS信号とCS信号にてフロー制御します。

パソコンがMT128S-D/Rからのデータを受信可能なときはRS信号ON、不可能なときはRS信号OFFにします。

T

●TCP/IP

Transmission Control Protocol / Internet Protocolの略称で、インターネットで通信するためのプロトコルです。

●TEL A/ Bポート

MT128S-D/Rの背面にあるポートで電話、ファクシミリ、モデム等のアナログ機器をモジュラーケーブルにて接続する端子です。

U

●URL

Uniform Resouce Locations の略称で、インターネット上の情報の住所にあたるもので“ http://www.omron.co.jp ”のように表示されます。

W

●WWWブラウザ

World Wide Web を検索し見ることのできるソフトのこと。browserとはbrowseするもの、すなわち「ざっと目を通す、拾い読みする」ためのツールという意味です。

代表的なソフトとしてネットスケープナビゲータやインターネットエクスプローラ があります。

ア

●アップロード／ダウンロード

自分のコンピュータからホストコンピュータにファイルを送ることをアップロードといいます。その反対にホストコンピュータからパソコンにファイルを取り入れることをダウンロードといいます。

●アドレス

電話番号のことをアドレスと呼びます。

INSネット64のダイヤルインサービスの場合、ダイヤルイン番号をアドレス（電話番号）として設定してください。データポート、TEL Aポート、TEL B ポートのそれぞれに設定できます。

●アナログ機器

アナログ電話回線に接続して使用できる機器。

イ

●インターネットプロバイダ

正確にはインターネットサービスプロバイダといいますが、単にプロバイダと略することもあります。インターネットに接続する環境を提供する業者のことです。

エ

●エスケープコマンド

データ通信中（オンラインモード）につながっている回線を切らずにコマンドモード（コマンド入力ができる状態）へ戻し、コマンドを入力することができます。

オ

●オフフック

電話機の受話器を上げて回線を接続できる状態にすること。

●オンフック

電話機の受話器を置いて回線を切断すること。

●オンラインモード

データ通信中のモードでありコマンド入力はできません。

カ

●回線速度

MT128S-D/Rと接続先のISDN機器（ターミナルアダプタ、デジタル電話機等）との通信速度。インターネットプロバイダによってサポートしている回線速度が異なります。

ク

●グローバル着信設定

ダイヤルイン契約していて、契約者回線番号に呼び出しがあったときに着信するかどうかの設定です。（ダイヤルイン契約時のオプションを‘グローバル着信あり’で契約したときのみ使用可能な機能です。）

コ

●コールウェイティング

通信中新たな着信があった場合、通信中の相手を保留し、応答することができる機能です。通話する相手と保留する相手を切り替えることもできます。

サ

●サブアドレス

ダイヤルインサービスを利用せず、自分宛のみ応答するときにサブアドレスを設定してください。着信時のサブアドレス照合により通信するかしないかを判断します。ただし、アナログ電話網からはサブアドレスを発信することができないので、この機能を利用するには発信側がデジタル網であることが必要です。

データポート、TEL A ポート、TEL B ポートのそれぞれに設定できます。

ス

●スループットBOD

MP128kbpsデータ通信中に、MT128S-D/Rがデータの流れる量をチェックし、指定したデータ量を境にしてBチャンネルを増減（128kbps ←→ 64kbps）します。これにより通信コストを節約することができます。

セ

●生成源

通信料金の発生源を表示するものです。

●切断理由コード

ターミナルアダプタ等が回路を切断した理由を表示するものです。

タ

●ダイヤルアップIP接続

電話回線が通じている間だけインターネットの通信規則に従ってサービスが使用できるという接続形態。1日中回線がつながっている専用回線とは区別されます。

●ダイヤルイン

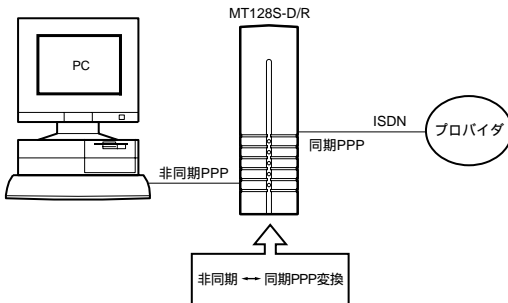
1回線(または1代表群)に複数の通信機器が接続されているときに、その中の特定の通信機器に直接着信させることを可能にするNTTのサービスです。

着信時にはネットワーク側から着信番号情報が通知されるので、その情報をもとに着信すべき通信機器(内線)の特定をおこないます。

●ターミナルアダプタ(TA)

パソコンや電話などのアナログ機器をISDN回線で使用できるようにする機器です。

テ

●デジタル機器

INSネット64に接続して使用できる機器。

ト

●同期・非同期PPP変換

パソコンからの非同期PPP(Point to Point Protocol)データを同期64kbpsデータに変換する機能です。この逆の動作も行ないます。この機能で、個人レベルでの同期64kbpsのインターネットが一気に普及しました。

ISDN回線でインターネットを使用時の最大の利点は、64kbpsでの高速通信が行えることです。

●ドメインネーム

インターネットに接続しているホストコンピュータに与えられる固有の名前。

ハ

●バス接続

ISDNコネクタを使用して1つの回線に最大8台までのISDN機器を数珠つなぎで接続することができます。配線の最後に終端抵抗(ターミネータ)を入れる必要があります。MT128S-D/Rの設定スイッチにて終端抵抗ありの設定ができます。

フ

●ファームウェア

MT128S-D/Rを動作させるためのプログラムです。出荷時には本体内部のフラッシュメモリに保存されています。

●フラッシュメモリ

MT128S-D/Rのファームウェアや設定内容を保存している書き換え可能なROMです。電源をOFFしてもROMの内容が失われることはありません。

●フレックスホン

フレックスホンとは、NTTの付加サービスの名称で次の4つの機能の総称です。

! コールウェイティング機能
" 通信中転送機能
三者通話機能
$ 着信転送機能

4つの機能を組み合わせて使用したり、必要な機能だけを使用することができます。

●プロトコル

コンピュータがお互いに通信しあうときの動作内容・方法を定義したものです。「通信規約」と訳されています。インターネットではTCP/IPが使用されます。

リ

●リソースBOD

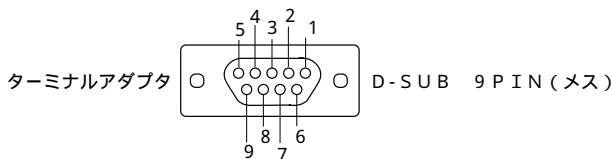
MP128kbpsデータ通信中で通信可能なBチャンネルが空いてなくても、電話機から発信・着信できます。このときMT128S-D/RがBチャンネルを１つ空けて（データ通信は128kbps→64kbpsになります。）通話可能な状態にします。電話による通信が完了すると、自動的に128kbpsデータ通信に復帰します。

ロ

●ログイン（log in）

あるネットワークに接続してそのサービスを使用する手続きをして中に入り込むこと。

■付　録

● 付録1 パソコンインタフェース

●パソコンインタフェースの信号線

ピン番号	信号名	信号方向 パソコン　MT128S-D/R	名　称	機　能
1	CD	←	キャリア検出	MT128S-D/Rが、キャリアを受信していることを示します
2	RD	←	受信データ	MT128S-D/Rからパソコンへ送られるデータです
3	SD	→	送信データ	パソコンからMT128S-D/Rへ送られるデータです
4	ER	→	データ端末レディ	パソコンの動作準備ができているかどうかを示します ON　：パソコンが、データの送受信の準備ができていることを示します OFF：パソコンが、データの送受信の準備ができていないことを示します
5	SG		信号用接地	相互接続回線に基準電位を与えます
6	DR	←	データセットレディ	MT128S-D/Rが動作準備ができているかを示します ON　：パソコンとデータの送受信を行う準備ができていることを示します OFF：パソコンとデータの送受信を行う準備ができていないことを示します
7	RS	→	送信要求	データ送信許可を要求します ON　：データ送信許可を要求します OFF：データ送信許可を要求しません
8	CS	←	送信可	データ送信可能かどうかを示します
9	CI	←	被呼表示	パソコンに着信していることを示します ON　：着信があることを示します OFF：着信がないことを示します

付
録

● 付録2仕様一覧

型式名	MT128S-D/R		
対応機種	DOS/V, PC98NX, PC98, Mac		
対応OS	Windows　：Windows95 /98/NT4.0		
	Macintosh ：漢字Talk7.5～Mac OS9		
機器名	ISDN回線用（INSネット64）DSU内蔵ターミナルアダプタ		
通信速度	同期128kbps/64kbps（非同期・同期PPP変換/MP/BACP［BOD］）		
適用回線	ISDN回線（INSネット64）		
仕様適用	インタフェース		ISDN基本ユーザ・網インタフェース　JT-I430 ポイント-ポイントプロトコル接続 （ポイント-マルチポイント接続）
	起動方式		呼毎起動／常時起動
	DTEインタフェース	データポート	1ポート
		インタフェース	RS-232C DSUB9ピン
		DTE通信速度	230.4k/115.2k/57.6k/38.4k/19.2k/9.6kbps
	アナログ装置インタフェース	アナログポート	2ポート
		受信ダイヤル信号	プッシュ式（PB）
		供給電圧	-48V(無負荷時）極性反転仕様
		NTT付加サービス機能	フレックスホンサポート（コールウェイティング、 通信中転送、三者通話、着信転送） INSボイスワープ/INSボイスワープ・セレクト （スティミュラスプロトコル対応） INSナンバー・ディスプレイi・ナンバー対応
電源	AC100V±10V（50／60Hz）　専用ACアダプタ 乾電池によるDC9V（停電時）		
消費電力	最大約8.5W		
環境条件	温度0～40℃　湿度25～85% RH（結露しないこと）		
寸法	約50mm（幅）×約158mm（奥行）×約170mm（高さ）		
重量	約500g		
電波障害防止	VCCI クラスA		

● 付録3設定記入シート

保守上で必要となる貴重なものです。設置時に記入の上、大切に保管してください。
＊は初期値です。

<table>
<tr><td>商品名</td><td>MT128S-D/R</td></tr>
<tr><td>設定の確認

●TEL Aポート
電話番号・サブアドレス
桁間タイマ
発信者番号通知
ナンバーディスプレイ
発信機器
識別着信
短縮番号</td><td>

______________　______________
＊□5秒　□9秒　□11秒　□13秒
＊□ 通知する　□ 通知しない
□ 使用する　＊□ 使用しない
＊□ 電話　□ FAX/モデム
□ する　＊□ しない</td></tr>
</table>

短縮	電話番号	サブアドレス
電話番号0		
電話番号1		
電話番号2		
電話番号3		
電話番号4		
電話番号5		
電話番号6		
電話番号7		
電話番号8		
電話番号9		

識別番号

識別	電話番号	サブアドレス
電話番号1		
電話番号2		
電話番号3		
電話番号4		
電話番号5		

商品名	MT128S-D/R
●アナログポート共通	
グローバル着信設定	＊□両方のポートを呼出す　□Aポートを呼出す □Bポートを呼出す　□呼出さない
優先着信ポート設定	□Aポート優先　□Bポート優先　＊□使用しない
付加サービス設定	＊□使用しない　□NTTの付加サービス □擬似付加サービス
内線通話・内線転送	＊□する　□しない
転送先電話番号設定	

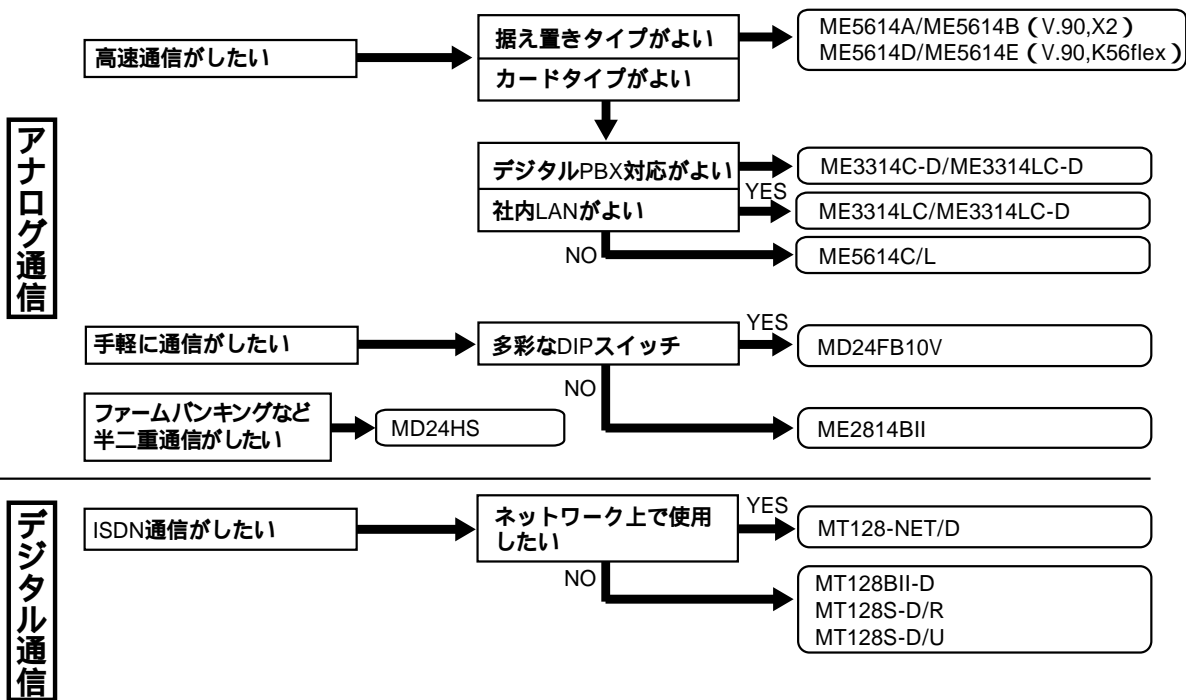
	着信時転送設定	転送先電話番号
TEL Aポート	＊□転送しない　□転送する	
TEL Bポート	＊□転送しない　□転送する	
契約者回線番号	＊□転送しない　□転送する	

転送時のトーキ設定	＊□擬似着信転送 □NTT着信転送1 □NTT着信転送2 □NTT着信転送3 □NTT着信転送4
●データポート	
電話番号・サブアドレス	＿＿＿＿＿＿＿＿　＿＿＿＿＿
発信者番号通知	＊□通知する　□通知しない
リソースBOD	□利用する　＊□利用しない
ER信号制御	＊□パソコンのER信号に従う　□常時ON
切断タイマ	＿＿＿＿分（範囲 0～30分／初期値10分）
スループットBOD	Bチャンネルを流れるデータ量 ＿＿＿＿ Kbps
リンク追加監視時間	＿＿＿＿秒
リンク追加固定時間	＿＿＿＿秒
リンク削除監視時間	＿＿＿＿秒
リンク削除固定時間	＿＿＿＿秒

■関連商品の紹介

●モデム、ターミナルアダプタの紹介

下記の図より最適なモデム、ターミナルアダプタをお選びください。
詳細は総合カタログやホームページをご覧ください。
＊OMRON周辺機器事業部ホームページのご紹介　http://www.omron.co.jp/ped-j/index.html

通信の目的や用途に合わせて、最適な機種が選べます。

Fax No.: 0559-77-0575
オムロンカスタマサポートセンタ行

お問い合わせ票

＊お客様がカスタマサポートセンタにお問い合せいただくときに本票をご利用ください。
＊ご質問の前に「お困りのときには」を一度ご参照下さい。

お名前		メールアドレス	
電話番号		ご購入日 / 台数	年　月　日 /　台
ご住所	〒		＊ 本製品の右側面に貼ってあるラベルの SERIAL NO. または製造番号を記入下さい

型式名	MT128S-D/R	製造番号＊	
パソコン	メーカー名： 型　式　名：		
ご使用 OS およびバージョン ＜例：Windows98,Mac OS8.6 ＞			
契約者回線番号	☎　（　）		
追加電話番号 ＜どちらかを選択＞	□ i ナンバー　□ダイヤルイン ☎　（　）		
ナンバーディスプレイ ＜どちらかを選択＞	□使用する　□使用しない		
その他 NTT サービスご契約内容 ＜例：ボイスワープ , コールウェイティング等＞			
接続アナログ機器名	TEL A（メーカー名：　） （商品名 , 型式名：　）		
	TEL B（メーカー名：　） （商品名 , 型式名：　）		
プロバイダ	□未加入　□加入済（プロバイダ名：　） □同期 64K　□同期 128K		

具体的な内容＜エラーメッセージなど；詳しく症状をお書きください＞

ターミナルアダプタ
MT128S-D/R
取扱説明書

＊認定番号は本体裏面を参照ください。

2000年2月発行

OMRON

周辺機器事業部

〒141-0032 東京都品川区大崎1-11-1 ゲートシティ大崎ウエストタワー14F

TEL：03-5435-2010

技術的なお問い合わせは周辺機器カスタマサポートセンタまで。

オムロン株式会社　周辺機器事業部

周辺機器カスタマサポートセンタ　TEL：0559-77-4717　FAX：0559-77-0575

住所：〒411-8511　静岡県三島市松本66

●受付時間　月曜日～金曜日　9:30～21:00（12:00～13:00を除く）

　　　　　　土曜日　　　　10:00～18:00（12:00～13:00を除く）

＊祝祭日および当社休日を除きます。

● NIFTY-Serve SMODEMVAにて24時間ご質問をお受けしています。

●メールまたはFAXでのご質問を受け付けております。
詳しくは、弊社ホームページをご覧ください。

● OMRONホームページのご紹介　http://www.omron.co.jp/ped-j/index.html

修理のお問い合わせは周辺機器メンテサポート部門まで。

オムロン株式会社　周辺機器事業部

メンテナンスサポート係　TEL：0559-77-9039　FAX:0559-77-9092

住所：〒411-8511 静岡県三島市松本66

●受付時間　月曜日～金曜日　9:00～17:00（11:45～13:00を除く）

＊祝祭日、および当社休日を除く

保守パーツのお問い合わせはオムロンダイレクトまで。

オムロン株式会社　周辺機器事業部

周辺機器オムロンダイレクト　TEL：0559-77-9037

住所：〒411-8511 静岡県三島市松本66

●受付時間　月曜日～金曜日　9:00～16:30（11:45～13:00を除く）

＊祝祭日、および当社休日を除く